新京日日新聞
夕刊　四月二十七日
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠　編輯人　松本爭　印刷人　水越內之介

感激に咽ぶ國都へ恙なく御歸還遊さる

曠古青史に輝く御訪日の御盛儀も滯りなく終へさせらる

曠古に輝く御訪日の御盛儀を滯りなく終へさせられ日滿兩國の親密不可分なる關係を永へに固く結ぶ輝しい御使命を目出度く果せられた滿洲國皇帝陛下には長途の旅の御疲れも拜せられず御機嫌いと麗しく二十七日午後五時三十分新京着御召列車にて沈宮內府大臣、袁尚書府大臣、謝外交部大臣、遠藤總務廳長以下隨員を隨へさせられ感激に咽ぶ國都に御歸還あらせられた

皇帝陛下御還御を壽ぎ奉る

この日御久方振りに皇帝陛下を迎へ奉る國都は朝來の風に朝まだき各戶に揭げられた日滿兩國旗が翩翻とはためき午前十一時ごろ降り出した

雪も　正午にははれ上がり御召列車御着の頃は赫い夕陽さへ薄雲の間より洩れはじめて颯爽たる皇帝陛下の御英姿を迎へ奉るこよなき奉迎日和である、皇帝陛下の御到着に先立ち午後五時はやくも掃き淸められた新京驛頭は到着ホームに丁交通部、張實業部大臣を始め各參議ら滿洲國特任官並に西尾參謀長、谷大使館參事官以下日本側各顯官、出發ホームに日滿兩國側文武百官が整列御召列車の到着をお待ち申上げる、かくて定刻も迫れば皇禮砲いんくと國都の春宵を衝いて

轟き　滿洲國軍々樂隊の奏する崇嚴なる滿洲國々歌が玲瓏と驛構內に響きわたるうちを午後五時三十分御召列車は滑るが如くプラットホームに御到着した皇帝陛下には陸軍通常禮裝の御軍裝にて後部展望車より颯爽たる御英姿を降り立たゝせられ奉迎者に御會釋を賜りつゝ稻川驛長の御先行古川滿鐵新京出張所長の御誘導にてしづくと玉歩を進ませられ沿道を埋めつくす日滿官民の赤誠籠めた奉迎のうちを自動車鹵簿にて宮廷に御歸還遊ばされた

國都は奉迎の渦　日滿國旗の波

夜は大提灯行列

迎へ奉つる

感激　に全都は熱誠に溢れ歡喜に埋めつくされた、各戶には早朝から日滿兩國旗が揭げられ宮內府を始め國務院各部、關東軍司令部等日滿各官廳こぞつて等しく五色旗と日の丸旗を揭揚して奉迎の赤誠と歡喜を表徵してゐる驛玄關を始め中央通り、七馬路などの奉迎塔もすつかり整へられ沿道は塵一つなく掃き淸められ正午には全市を擧げて奉迎の準備は全く完成した、御召列車の御到着に先立つて沿道は在鄕軍人少年團、日滿各學校生徒兒童陸軍士官學校滿鮮旅行演習隊國防婦人會その他日滿各團體一萬余の奉迎者が沿道に

堵列　奉迎申上げた、なほ同夜は特別市奉迎諸團體三千四百名の大提灯行列が行はれ蜒々長蛇の行列は全市を灯の海と化すであらう

去る四月二日輝しい御訪日の途に上らせられた皇帝陛下を奉送申上げた國都新京は二旬後の二十七日再び皇帝陛下を

鄭國務總理

御召艦、供奉艦乘組員慰勞

鄭國務總理大臣は御召艦及び供奉艦乘組員と駐滿海軍部首腦部を二十八日公記飯店、二十九日大陸春に招待し慰勞の宴を催す筈である

奉迎各省長

旅宿先

皇帝陛下奉迎の爲目下新京に滯在中の各省長及軍管區司令官の宿所は次の通りである

奉天省長　南廣場前越香春
吉林省長　同
三江省長　同
龍江省長　大同大街康德ビル向側自宅
安東省長　亞洲旅社（大陸春前）
熱河省長　驛前日升棧
錦州省長　中央ホテル
間島省長　向陽ホテル
黑河省長　國都ホテル
濱江省長　大和ホテル

士官學校演習隊

二日來京

陸軍士官學校滿鮮旅行演習隊

西尾參謀長

歸任

北滿各部隊を檢閱中の西尾關東軍參謀長は二十六日午後七時二十五分着列車で梶井軍醫部長、渡邊獸醫部長、和泉兵器部長を同伴歸京した

殷同氏一行赴日

【奉天國通】北寧鐵路總辦殷

明日宮廷府で

南大將以下に御賜宴

明日正午皇帝陛下は特別の思召しを以て南軍司令官、西尾參謀長、板垣參謀副長、鄭總理、張參議府議長、沈大臣、謝大臣、袁大臣、遠藤總長、張侍從武官長、入江宮內府次長、林出行走等を宮廷府へ召され御賜宴ある筈

對支態度の決定は"見極めてから後"

林陸相對支意見表明

【東京國通】林陸相は既報二十六日午後の有吉公使との會見に付いて左の如き軍部側の意見を表明した

支那が我が國に對する態度に一大轉換を試みて親日的態度を表明し日本との提携を要望する聲が出て來たことは眞に結構なことだ、然し日支提携は聲丈けであつてはならぬのであるから更に今後の推移を充分見極めてその事實を確認するに到つた場合初めて之に對する具體的對策を決めるべきだらう

輸出入統制の特別委員會設置

第二回通商審議會

【東京國通】海外諸國の日本品防遏手段に對抗する方策を考究する第五回通商審議會は廿六日午後外相官邸に於て

開催　會長廣田外相以下政府民間委員三十餘名出席、先づ外相より海外商權確保、貿易援護の要を說き外國に於ける日本品の輸入防遏措置に關する件と云ふ諸問事項を提出したる後幹事長來栖通商局長より最近に於ける諸外國の對日貿易防遏の一般的情勢に關して詳細なる報告を爲し、此際輸出入統制の必要を說き協議の結果右具體策を研究するため廣田外相指命の輸入統制に關する特別委員會を設置する事に決定した、次でカナダの對日貿易態度の現狀に言及した後對策協議の結果遂に對カナダ貿易調整の爲には此際通商擁護法を發動の外無しと提案し全會一致可決、玆に輸出入統制委員會並にカナダ貿易調整委員會の二小委員會の設置を決定した、尙右特別委員會委員は政府民間より外相が指名の上可及的速かに委員會を開催することとなつてゐる就中對カナダ貿易調整特別委員會は

急速　に開催の上カナダの日本品防遏の關稅調査とこれに對應すべき報復の手段程度を研究する筈である

獨政府各國と

陸軍留學生を交換

既に英國とは具体的決定

【ベルリン廿五日發國通】ベルサイユ條約軍事條項の桎梏を蹴飛ばしたドイツ政府は再軍備宣言に對する關係各國の承認を待たず再軍備を既定事實として各國政府との間に陸軍留學生の交換を開始するに決定、既に英國政府との間には具体的細目成り即時留學生を交換することとなつた、その具体的細目は

一、英獨兩國政府は大戰前の慣行を復活今後陸軍留學生を交換する
一、留學生は英獨兩國步騎砲各兵三部隊の將校より一名づゝを選拔、三名とする
一、留學生は相手國軍の當該部隊附として六週間留學し相手國軍の軍事を研究する

等で獨政府は更に同一方針に基き日本政府その他數ヶ國政府の意向を打診して居る

今出博士歸省

滿鐵新京醫院婦人科醫長今出博士は鄕里和歌山に歸省のため二十七日午前七時新京を出發した

天長節の佳宴に皇帝陛下臨御

招魂祭には鄭總理參列

二十九日の天長節祝賀宴には皇帝陛下は關東軍司令官々邸に臨御遊ばされる、同三時からの園遊宴には各省長各軍管區司令官が出席する、卅日の招魂祭には鄭總理が出席玉串をさゝげるが于宗讓侍從武官が陛下御名代として奉拜する

南大使旅順で

觀櫻園遊會

南特命全權大使は來る五月五日午後二時から旅順舊長官々邸で觀櫻を兼ねた園遊會を催すことゝなり新京の各方面へ案內狀が發せられた

同氏は東京で開催される東洋觀光會議に出席のため東方旅行社總經理張水淇氏と共に奉山線經由で廿六日午後八時廿分着列車で來奉鐵路總局の首腦部と會談の上先發として來奉した北寧鐵路運轉科長鮑錫藩氏等と落合ひ午後二時一分發で安東經由「のぞみ」で赴日の途についた

北平政治整理委員會

委員長に殷同氏任命されん

【東京國通】北平政務整理委員會委員長黃郛氏は今回愈々國民政府民政部長に就任し蔣介石、汪兆銘兩氏を補佐して一般內政問題の調整に當る事になつたが黃郛氏の後任として北平政務整理委員長の一人に擬せられて居る者は目下鐵道觀光會議に出席の爲め來朝の途上にある北寧鐵道局長殷同氏であり近く正式任命さるべき旨廿六日その筋に情報があつた、殷同氏の正式就任は對支關係の現狀より注目されて居る

湯島聖堂孔子祭

何健氏より孔子像寄贈

【上海廿六日發國通】來る三十日東京湯島聖堂に於て擧行される東洋儒道大會並に孔子祭に際し湖南省主席何健氏は孔子の畫像を寄進する事となり、廿六日長沙同仁會員長關重彥氏が右畫像を携へ來滬した、關氏は廿七日出帆の上海丸で急ぎ東上する筈であるが右畫像は支那畫壇の重鎭李鶴氏の筆になる約四尺ばかりの立像である

人事往來

▲武井天羊氏（新京寫眞通信社長）皇帝御訪日寫眞撮影のため日本出張中の處二十六日午後歸京
▲吉武朝次郎氏（ハルビン電業公司）二十七日午前來京國都ホテル投宿
▲長浴川武氏（會社員）二十六日午後來京同上
▲高津豐久氏（北滿製糖社員）二十六日午後來京同上
▲桝巴倉吉氏（奉天省實業聽總務科長）二十七日午前奉天へ
▲增本芳太郎氏（北滿製粉取締役）二十七日午前ハルビンへ
▲井上四平三氏（安東實業家）二十七日午前安東へ
▲宮下眞次氏（兵庫縣洋紙會社員）二十六日午後來京名古屋ホテル投宿
▲齋藤忠之助氏（志岐組員）同
▲本田安五郎氏（大阪綿花會社重役）同
▲西宗次郎氏（同職員）同
▲北川淸氏（京都洋反商）同
▲淸水武吉氏（伊藤萬商店）同
▲河內志郎氏（吉林警務廳長）同
▲鐵氏（黑河省長）二十六日午後來京
▲凌陞氏（興安北省長）同
▲額勤春氏（同東省長）同
▲河本大作氏（滿鐵理事）同
▲西尾中將（關東軍參謀長）同
▲梶井軍醫監（同軍醫部長）同
▲渡邊獸醫監（同獸醫部長）同
▲松村少將（松村部隊長）二十七日午前發ハルビンへ
▲花輪司法領事（新京總領事館）同吉林へ
▲和泉少將（關東軍兵器部長）二十六日午後歸京
▲戒能通孝氏（滿鐵社員）同來京ヤマトホテル投宿
▲脇本傳司氏（大連會社員）同
▲吉田初次郎氏（橫濱會社員）二十七日午前來京ヤマトホテル投宿
▲柏尾誠一郎氏（同）同
▲坂梨繁雄氏（滿洲煙草會社事務）同

團體

▲大阪鮮滿モスリン視察團十名二十六日午後十時三十分來京同日午後十一時發ハルビンへ二十八日午後三時歸京同日午後八時發南行豫定

誤解された純情（二）

朝　20

若水絹子

今朝は、昨夜の苛立たしい氣持ちがすつかり拭はれてゐて、朝の空氣の味に心が弾み切つてゐるのだつた。明り取りのために入れてある雨戶の小さい硝子から、朝の太陽の光りが杪らしく射し込んでゐた。

球惠は、雨戶をすつかり繰つてしまふと、暫らく二階の廊下から向ふの植込みの方を眺めてゐたが、間もなく階下へ降りて顏を洗つてから、丁度そこへやつて來た母の顏子に

『お母さま、蘭子ちやんは？』

と、妹のことを訊いたのだつた。

『今朝早く、お友達と一緒に郊外の方へ遊びに行くのだと云つて、出ましたよ。さうね、六時一寸過ぎだつたかしら？』

『さう。蘭子さん來てゐらつしやるのね』

『えゝ、今日は珍らしく朝から何だか昨日お晝と會つて、今日遊びに來るやうにお約束したとか云つて……』

『えゝ』

球惠の返辭は何となく氣のないものだつた。彼女の頭にふつと嫌な氣持が起つたのだつた。あの人、今日永見さんに遊びに來るやうに云つたけど、それを當て込んで遊びに來たのぢやないかしら？と、かう思ふと、何ともいへぬ忌々しさを感じたのだつた。同時に、そんな事はない。それなら何もこんな朝早くからやつて來ないでも、永見さんの來る時分を計らつて來る筈だから、とかう思ひ直して、彼女は朝の化粧をする爲めにまた二階へ上つて行つたのだつた。

球惠が、鏡臺の前に坐つて、顏に化粧水をつけてゐる所へ、かう云つた球惠の聲は、反抗的だつた。

『あら、何故？』

『だつて、入らしつたりなんかしないわ』

『でも、お姉さまと、お友達ぢやないの？……』

『お友達はお友達でも、彼の方溫和しい方ですもの、昨夜は、あゝ仰有つてもさう直ぐには入らつしやらないわ。それに、初めての家ですもの……』

實際に、球惠は、永見の來るやうなことはないと思つて、かう云つたのだつた。

『あたし、何んだか入らつしやるやうな氣がするのよ、ねえお姉さま、もし永見さんが入らしつたら、三人でどこか郊外に行かない。井の頭かどこかへ？』

『……』

球惠は、それに答へやうとせず、顏に粉白粉を叩いてゐた。そして、三人で歩くことは、もう懲り〳〵だと思つてゐた。

球惠の起たことを後から聞いたのだらう。與のやうな足音をさせて蘭子が上つて來た。

『お姉さま、隨分、おそいお目覺めね』

『あら、あたしが遲いのぢやなくて、貴女が早いのよ』

『でも、もう八時過ぎよ。あたし永見さんが朝のうちに入らしやると思つて、七時に起て、急いでやつて來たのよ』

と、何の他意も無ささうに蘭子は云つたのだつたが、永見と云ふ言葉を聞くと、球惠の心は急に、昨夜の感情に支配されたのだつた。

同時に、蘭子に對する親しみが崩れてしまつた。

『入らつしやるもんですか』

最後の切札八枚

女八人急流時代

（作合）

柳　咲子……柴　吟子
大林梅子……若水絹子
瀧　園子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子
（主題歌　大阪養丈蔵）

若水絹子作

新義州行き旅客機 墜落遭難行方不明
操縱士淸水氏、機關士篠原氏 旅客はない模樣

（大連國通）廿六日朝出發した大連發新義州行定期旅客機行方不明の報道に接した日本航空會社では急援機を派遣午前十時青木操縱士、粟田機關士搭乘して急遽出發、目下搜査中、尙墜落を豫想されてゐる旅客機には旅客なく操縱士淸水耕作氏、機關士篠原喜久三郎氏が搭乘のものである

旅客機海中墜落か
大孤山海岸で赤行囊發見さる

【安東國通】日本航空會社の大連新義州定期旅客機の行方不明につき滿洲國海邊警察隊安東分隊では大孤山海岸に赤行囊一個墜落して居るのを發見したため恐らく海中に墜落したものと認め警備船五隻を出動せしめ附近を搜査したが風强く波高く搜査に困難を極めて居る尙旅客は一名も乘つて居ない

海邊警察隊で 徹宵海掃作業
遭難機依然不明

に依賴し夜の掃海作業を依賴し警察隊では徹宵搜査を行ふ筈で更に二十七日未明より新義州飛行場偵察機が搜査に當る筈である

【新義州國通】朝鮮沿岸を搜査した新義州飛行場偵察機は午後八時歸來したが遭難機の行方は依然として判明せず、日沒となりたるため空中よりの搜査は今日は打切ることとなつた、搜査本部たる新義州飛行場は海邊警察隊安東分隊

遭難の報に 見舞客詰めかく

【新義州國通】淸水機遭難の報に接し日本航空會社から安部運航課長が飛行機で來新することとなつた、新義州飛行場には各方面よりの見舞客續々詰めかけ哀愁に包まれて居る

救出絶望視さる

【安東國通】遭難の淸水機の搜査は二十七日未明より新義州飛行場から偵察機二機出動搜査を行つたが何れも海上に潮霧深く未だに發見するに至らず九時二十分兩機とも歸來した、今までに遭難機から何等の連絡なく搜査の手掛りなきため新義州飛行場では最早淸水機の遭難を確認し救ひ出しは絶望視されるに至つた尙引續いて空中海上兩方面より徹底的搜査する筈である

太刀洗機及び軍艦も來援
淸水機搜査愈々本格化す

【大連國通】遭難旅客機の行衞は未だ杳として判明せず陸上との連絡の爲無電機を裝置した偵察機が太刀洗より應援の爲新義州に飛來し搜査に參加するが、これと呼應し大連では旅順要港部及び水上署と連絡して驅逐艦派遣方を依賴し專ら海上搜査に當る事となつた
尙今朝大連發上り定期飛行は天候も稍々恢復したので午前九時十五分周水子飛行場を出發途中搜査を行ひつつ新義州に向つた

愉しい小冒險 競馬狂の春
大穴、彩票に一攫千金の夢

大陸の春愈々酣となりファン待望の裡に開かれた滿洲國賽馬は、二十一日のハルビン賽馬が空前の人出を呼んで開幕に相應しい盛況を見せ、奉天のところ、新京も二十七日より開催の筈のところ、當日は滿洲國皇帝御還幸のため謹んで奉迎の意を表し二十八日開催されることとなつた
既に各地共、自慢の古馬が春の榮冠を目指して凞風に嘶けば、新馬は馬政局長賞典を競つて豫斷を許さず、騎手の秘策亦覗ふ由もない、がファンは無制限配當の大穴を狙つて豫想に餘念なく、更に例の人氣者嗣搖彩票、壽搖彩票の幸運は我が手にとばかり人氣は今や最高潮、然も二十八日の日曜やら天長節、招魂祭と三日間、永い蟄居生活を餘儀なくされてゐた國都人士にとつて正に解放行樂の日が續くわけだ、一攫千金の朗らかな夢を抱き壯快な賽馬に一日を過すのも春に相應しいものに違ひないなほ春季第一次の開催日は次の通りである
哈爾濱　四月二十一、二十八、二十九、五月五日、十二、十二、十九、二十六日、
奉天、新京　四月二十八、二十九、三十日　五月四、五、十、十一、十二日

苦力小屋燒く

二十七日午前七時五十分頃南嶺滿洲國警察學校新築工事場苦力小屋より出火同建物を全燒して九時十分頃鎭火した原因其他調査中

カフエートリオ失火

二十六日午後八時二十分頃市內東二條通□番地カフエートリオより發火急報により滿鐵消防隊出動僅に屋根上をこがした程度で消し止めた

ラヂオ普及會社 サービス

新京百キロ放送開始以來頓に活動的となつて來た全滿各放送局では、內容の充實を計ると共に聽取者の獲得に全力を注いで居るが、就中全滿聽取者の約八十%を管內に有する大連放送局では過般の紀道に闘する座談會を手初めとして今回劃期的放送とも云ふべきマイクを旅順に移し、之を大連迄有線で送り全滿に『旅順の夕』を放送する等非常な努力を拂つて居る『旅順の夕』は四月二十五日大連放送局、旅順電報電話局主催、旅順市後援の下に櫻花咲誇る大正公園より平澤アナ君の名調子に實況放送をなし午後六時より昭和園に於て講演、演藝、映畫會を催してラヂオ加入者を招待午後十時閉會したが、花の旗順全市をあげてラヂオデーの感を呈した、尙ほ此日滿洲ラヂオ普及株式會社では淸水大連營業所長を筆頭に、營業部、技術部員總出動し、ラヂオの無料相談、修繕に應ずる機宜あるサービス振に市民に非常な感銘を與へるところがあつた

郭家店の杏花、梨花 お花見はいかゞ
本社後援で新京驛が計畫

郭家店バブチャップ公園の杏花、梨花はそろ〳〵蕾がほころび初めた、新京驛では本社後援で滿開時に花狩園を二回に亙つて募集する、第一班は五月一日、第二班は五日、午前十時發、かへりは午後六時三十五分着の日がへり散策、一日は商店の休業で番頭さん小僧さん連のお花見に好都合五日は節句に日曜で一般市民に便利がよく、團費は普通運賃の半額大人一圓四十錢、子供七十錢、各自辨當その他を持參、申込みは新京驛（二〇一六、三二七六）

大連觀櫻團 喜々と出發

花見團一行三十名は二十七日午後四時發列車で大連に向つて出發した、かへりは二十九日午前八時五十分着の豫定

奉納者にとり この上もない記念
神社の玉垣一萬四千余圓 一般氏子から募集

新京神社の石の玉垣奉納についてはこれを一般氏子から寄附を募集することになつたが、同玉垣は笠石、土台石を含めて大柱百四十六本、小柱五百八十四本でこれを附屬地および民會に割當てると各區につき大柱は各區十二本づゝ小柱は四十八九本になるわけである、各區總代ではいよ〳〵募集に着手したが大柱一本は三十圓、小柱一本十七圓でこの總額一萬四千三百余圓寄附者の氏名は一々彫まれることになつてゐる、神社のことであり且つ永久の記念としてもこの上ないものであるので各方面から擧つて申込みがあるものと見られてゐる、なほ各區總代ではこゝ一二週間中に一通り募集をなしその結果を持寄ることになつてゐるがその位置は抽籤によつて決めるはずである

街の日記

あすは 日蓮聖人お題目記念日

二十八日は日蓮聖人が相州淸澄山々頂で日の出を拜し、始めて題目を唱へた記念の日なので日蓮宗經王寺では恒例により當日午前四時より西公園誠忠碑前に於て弘宗會を行ふ

明日の日曜に新京早起會では恒例により午前六時より西公園誠忠碑前にて早起會の集ひをする

春の溫習會 大入滿員の盛況

藤浪會勢好會の第二回溫習會は二十六日午後五時から公會堂に開演したが、出演者何れも新京花柳界の連中なので各方面の後援すばらしく講堂外は寄贈の花環で埋まつて居た入場者も急激な氣候の變化にこの足を踏んで少なからうと思はれたが案外に階上階下立錐の餘地なきやうな大入超滿員の盛況を呈し、時々拍手喝采の響が公會堂をゆるがすやうに路行く人の足を止めさせてゐた、今二十七日夜で千秋樂一層の盛況を見せるであらう

でつち生洲開業

市內料亭開花の板場で腕を振つてゐる增田さんは今度梅ケ枝町二丁目二番地もとまんなほし跡に「でつち生洲」といふ味覺本位の料理店を開業、二十六日午後六時から關係筋を招いて披露宴を張つた、同料理店は階下は壽司、麵類、海川魚其他安直に間にあふやうに出來ており階上にはいきな日本間六室あり氣の利いた六名の仲居さんが愛嬌をふりまいてゐる

けふの銀相場

國幣對金票　一〇〇圓六〇錢
鈔票對金票　一〇四圓八〇錢
國幣對鈔票　八〇圓五〇錢
現大洋對鈔票　一四一圓五〇錢

鐵路總局で タイピスト募集

鐵路總局では邦文タイピスト若干名を募集、資格は高等女學校を卒業した者で算年二十三歲以下、應募者は必要書類を五月八日までに鐵路總局總務處人事課タイピスト採用係に提出のこと、十二日午前九時から鐵路總局で技術試驗適性檢査および口頭試問を行ふ詳細は二十六日附滿鐵社報で發表された

春季第一次賽馬

開催日（勝馬票）國幣五圓也
四月　廿八日（日）　廿九日（月）　三十日（火）
五月　四日（土）　五日（日）　十日（金）　十一日（土）　十二日（日）
雨天順延　毎日午前十時開
社團法人 新京賽馬俱樂部　電話 事務所 二三二一・五五〇六番　俱樂部 五五〇七番

本社主催 第一回日滿對抗ラグビー
二十九日擧行
西公園グラウンドで

本社主催第一回新京日滿對抗ラグビー大會は二十九日午後二時から西公園運動場で兩軍劈頭の肉彈戰が展開されることになつた、この日午後二時日本側は日昇旗をひるがへしつゝ野村監督に引率され入場するや同時滿洲國側は五色に色彩られた國旗を春風になびかせつゝ入場し兩軍所定の位置に着くや兩軍主將によりメンバーの交換が行はれ續いて本社々長代理松本編輯局長の開會の挨拶あり終つて審判員青木氏から試合注意事項を提唱し同三十分から本社々長代理松本編輯局長の始球式により猛烈な戰の火蓋は切つて落されることになつたが兩軍のメンバーは左の如くである

日本側
高田（秋田工業）重國（教育專）田中（熊本高工）久永（京都帝大）杉田（南滿工專）高森（佐賀工業）神田（南滿工專）有川（旅順中學）村上（東京高師）淺野（東北帝大）崔（京城師範卒）武田（南滿工專）濱口（育成）大神（長崎高商）牟田（彥根高商）館川（滿洲醫大）近藤（下關商業）

滿洲國側
三上（京大）松藤（同）木ノ前（埠阜高農）池田（東大）石渡（同）鹿毛（工專）顯原（立教大學）糸井（同）青木（法大）山田（名古屋工業）渡邊（工專）出井（名古屋工業）大瀧（慶大）大澤（高城高工）橫田（工專）菅ノ谷（東大）山本（旅大）小栗（神商大）松浪（新京商業）關屋（同）松見（同文書院）村山（鹿兒島工業）

派遣氷上 選手決定
第四回冬季オリムピック

【東京國通】明春ガルミッシエパルテンキルヘンに於て擧行される第四回冬季オリムピック大會派遣日本氷上選手は左の如く決定した、尙フイギユアー・スケートのみは今秋十月下旬の詮衡競技會後正式決定する
△スピード
短距離　石原省三（早大）
中距離　河村泰男（滿洲）
長距離　李聖德（早大）　金正淵（明大）
△ホッケー選手十名
尙スピード、ホッケー兩競技とも若干名の補缺選手を送る豫定である

第二回新京野球大會 あす二試合
鐵道―地方……新廳舍―電業戰

全ファン待望の本社主催第二回新京硬式野球大會は中銀對舊廳舍により火蓋は花々しく切られたが第二、三日目の鐵道對地方、新廳舍對電業試合は降雨のため休止順延となり愈々明二十八日午後一時鐵道對地方、同三時新廳舍對電業の二試合が開始されることになつた鐵道、新廳舍、電業の三チームはいづれも劣らぬ本大會の優勝候補とされてゐる、特に新廳舍對電業戰は優勝戰に相當する好試合でファンを熱狂さすであらう

法政先勝 對早大一回戰
六大學リーグ

東京六大學リーグの早大對法政の第一回戰は廿七日午前十一時廿五分神宮球場にて開催、森田（球）齋藤（塁）片桐（塁）の三審の下に早大の先攻の下に開始されたが十四對五で法政先勝した閉戰午後一時二分
早 0 2 0 2 0 0 1 0 0 0
法 2 0 0 5 3 4 0 0 0 A
14A5

五洋匪を擊退で
指導官以下十二名戰死

【チチハル國通】廿六日夜省公署に達した開通縣よりの報告に依れば廿三日午後四時頃開縣警察隊は縣內第四區八面山昭南方十支里の地點に於て匪首五洋の率ゐる約六十名の匪賊と交戰之を擊退したが、右戰鬪に於て警務指導官那須皓、杉田利一の兩氏並に警察隊員十名戰死したと

公主嶺の 建築界情況

【公主嶺支局發】昨春以來軍都公主嶺の建築界は非常なる殷盛を極め殊に本年解氷期に入るや鐵北（主に官衙及び社宅町）鐵南（商業地）の空地に或は糧棧の跡を買收し工事に着手せるもの既に十數ケ所に達し煉瓦の需要丈けでも相當額に上り外木材其の他諸材料の賣行は激增し建築業者諸材料者は滿悅の狀態である

吉林に 放送スタジオ

滿洲電信電話會社では從來吉林よりのラヂオ放送に演奏スタヂオなく不便を感じてゐたが今回吉林電報電話局の一部を之にあてることとなつた

紅匪を擊退
豐島伍長の奮戰

【吉林支局發】奉吉線朝陽山駐屯の守備隊豐島伍長以下十一名は同地東方約三キロの地點恒頭山附近の山中に於て二十三日午後三時頃有力なる紅匪數十と遭遇、激戰約二時間半の後徹底的の打擊を與へて敵を四散せしめた、此戰鬪に於て我には損害くな敵の遺棄屍體十五ありし外、小銃三、彈丸一千發、拳銃四、同彈丸九百發を鹵獲した

第十二回句會報

四月二十八日例會を三堂居に開く、折からの春雪に句興一入であつた、前回の淋しさに反して定連の出席多く、批講も緊張したが、滿壽子さんデーで男子側顏色無しの不振ぶり、次回の健吟を希ふ、次回例會は五月二日、中央通り三堂居
兼題　鯉幟、種痘
句會の作句左の通り

煤煙によごれし木々の芽みぐけり　寸々
だしぬけに寒き日ありて木の芽月　同
たき藻と新しき藻と水溫む　同
春雪や廢墟の如き煉瓦竈　同
つながれて驢馬の嘶きゐる木の芽かな　隆子
巢鴉のロシア官舍はありにけり　同
木々の芽に風强き日のつゞきけり　同
拔き糸をためたる膝や日永妻　滿壽子
草の葉につゝける泡や水溫む　同
傷多き大木にして芽ぐみをり　同
流れゆく物影もちに水溫む　同
芽立ち木の水にうつりて鮮やに　三堂
毎日の道を變へたる遲日かな　同
木の芽ふく晨の窓をあけにけり　同
やわらかき徑となりけり木の芽風　同
煙突と並ぶ日樺鴉の巢　牙城
町中に牧場のあり木の芽ふく　同
くゞり戶を押して入りぬ日永寺　同
泥擲に布告ありある日永　村
木の芽立ち愛宕の山の男阪　佐知緒
一人子に嘶されつゝ朝寐かな　如水

仙人掌

曙の竹千代姐さん、長春時代からの古顏でありますことは御案內の通り、八千代館の喜千八姐さん、それから開花の萬彌姐さん等々相踵いで藝妓稼業鑑札を返納して素人になつたのを見聞し▲ねへ誰ぞあたしを貰つてくれる人はないでせうかと聊か心さみしさを感じたらしい口吻をもらして居ります、こないだも開花の千太郎姐さんと落ちあい、お互にいゝ加減に足を洗はぬと恥しくなると申合せをしたさうです、▲誰ぞほんとに竹千代姐さんを引取る人はありませんか、新京屈指の藝道に精進してゐる妓、やめたらお師匠さんで一本立ちの腕はあるが、本人は謙遜して、まだ駄目ですワも少し修業して來なくちやと云つて居ります、▲引取らうと思ふ人は早く申込んで下さい、でないて彼女新京におさらばして藝修業の旅に出てしまひますぞ

天氣と氣溫

明日の天氣　西寄の風曇後晴
日の出　午前四時三十六分
日の入　午後六時三十八分
月の出　午前一時五十四分
月の入　午前一時六分
けふの氣溫　最高 七ド八　最低 二度一

新撰爆笑隊
(禁上映上演)

辰野九紫作　永田八浦闘英太朗畫

現代篇 七〇
別れの辛さ(五)

「あの、綾子さんのお住居でゐらつしやゐますか」

「はあ……」

主人臆吉は相變らずの生返事で來客の正體をつかまうと努めた。自分の名が引合に出されたので、彼女も玄關へ飛出してきた。

「どなた？」

「私よ──綾さん」

「まあ……百合さん」

女客はけば〳〵しい洋裝で俥からおりた。彼には彼女のにしてはちと不似合な手提バスケットを持つて車夫が控へてゐる。

「隨分探したわ」

「……でせう。よくわかつたわね。こんなとこ──さあ、おあがんなさいな。汚いけど……」

「えゝ、ありがと──〇、失禮して、この儘上らうかしら……」

「何いつてんの、來たばかりで……」

「えゝでも、お邪魔ぢやなくつて？」

「いゝえ──その俥、歸しちやいなさいよ」

「ぢや、さうするわ」

何時の間に引込んだのか、臆病は六疊へ戻つてゐた。

「あんた、百合さんよ──知つてるでせう」

と綾子も彼の側によつてきて、今頃何しにきたんだらうといふやうな顔をした。戸外では老車夫が水鼻をすゝりあげて、くど〳〵と賃銀の割増を要求してゐる。

「俺もよくねえけんど、お前も悪いだ──浦和で臨時別莊をしらない奴はモグリだなんて大けえことをいはつしやるで、ふんとにそんな立派な別莊が出來て、一度も我等のお客をのせたことがねえといはれちや組合の恥だ。後學の爲お俥させて貰ふべえと思つて、番地もわからねえとこ突走つて來りやこの始末ぢやねえか」

「あら、あんなにのろ〳〵歩いてた癖に、それで突走つたの」

「何いふだ、速いか遅いか闇暗でわかんなかつたんべえ。これでも若え時にや韋駄天の丑松といつて、知事さんのお氣にいりだつたこともあるだ、お前様のいひ草ぢやねえか、浦和大宮でしらねえ奴はモグリよ」

「ほほほ、昔はえらかつたのね。」

「駄目だよ、今頃そんなお世辭をいつてくれたつて……それよりか。もう三錢増してくらつせえ。──小一時間も彼方此方聞き廻つても誰もしらねえ筈よ。別莊どころか、こりや、浦沼でも一番小汚ぢやねえか」

「もういゝわよ、ぢや、八十錢あげれば文句ないんでせう」

百合さんと稱する御婦人は、いくら銀貨入れの中を掻集めても、それが見付からないのか、玄關から奥へよびかけた。

「綾さん、私、細かいのがないのよ。濟まないけど僅貸立替てくんない」

そこで再彼等夫婦はお互に目をぱち〳〵させて珍客の歡迎の手配に及んだ──車夫を追拂つた彼女は、派出看護婦のやうに、バスケットを提て彼等の六疊へ入ると、まづ、主人公に敬意を表した。

「臆さん、御機嫌やう。私、先日、上野で綾さんに久しぶりで會つて、この頃御一緒だつてこと伺つたのよ、羨ましいわ」

「やあ、暫く……」

とテレてにやくするより他に彼は策がないらしい。

「綾さん、先日は失禮……」

「私こそ、あんた、あの時素晴しい勢ひだつたわね。私の方が羨ましかつたわよ。あれから汽車にのつてどこへいつたの」

ラヂオ

廿八日(日曜)新京

(午前之部)

六、〇〇 ラヂオ體操(滿語)
六、一五 ラヂオ體操(大連)
引續き 入港船の御知らせ(大連)
七、〇〇 ラヂオ體操(滿語)
七、一五 ラヂオ體操(大連)
七、三二 朝の音樂(大連)
八、三〇 子供の時間
神詣
‖福井市藤島神社境内より中繼‖
福井市足羽小學校兒童
お話 宮司 片岡常男
九、四〇 講演(東京)
災害より見たる砂防工事 農學博士 赤木正雄
一〇、一〇 子供の時間(滿語)(奉天より)
一、唱歌 奉天市立十緯路兩級小學校女生徒
指揮及鋼琴 吳旭東
(イ)校歌 (ロ)春天快樂 (ハ)健身歌 (ニ)小船 (ホ)海面風 (ヘ)漁光曲 (ト)因爲爾 (チ)小明友 (リ)落花流
二、舊劇情唱 李剛
(イ)斬黃 (ロ)鳥龍院
三、古事 一個小學生的日記 王永剛
一〇、四〇 演戲
二進宮 老生 佩芝
漢陽院 胡絃 何景武
一〇、五九 時報(東京)
一一、二〇 五、〇〇 野球試合實況
東京大學野球聯盟リーグ戰
‖明治神宮外苑野球場より中繼‖
帝大對立教 法政對早大
〇備考 左の放送時刻には中斷す
一一、五〇 講演(全日滿中繼)
滿洲の民情 財政部總務司長 星野直樹

(午後之部)

二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(東京)
●●野球取止めの場合は左を追加します●●
〇、二〇 講談(東京)
太閤記 澄又の七日普請 柴田南玉
一、〇〇 映畫劇(大阪)
恥を知る者 海音寺潮五郎原作 市川右太衛門プロダクション
一、四〇 博多仁和加(福岡より)
出來心
五、〇〇 子供の時間(東京)
お話 珍らしい天然記念物 理學博士 鏑木外岐雄
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 ニュース
六、三〇 國民の時間(奉天)
皇帝陛下御歸國奉迎之辭 奉天市長 閻傳紱
七、〇〇 義太夫(大阪)
伽羅先代萩(政岡忠義の段)
‖文樂座‖
淨瑠璃 竹本小春太夫
三味線 鶴澤清二郎
七、四〇 ラヂオドラマ(東京)
瀧の白糸 泉鏡花作 川村花菱脚色
場景 一、卯辰橋 二、ある料亭 三、法廷
配役
瀧の白糸 花柳章太郎
村越欣彌 柳永二郎
車夫 菊波正之助
太夫元 若林 大矢市次郎
女中 若井信男
廷丁 成島惠三
裁判長 藤村秀夫
南京出刃打 村田正雄
辯護士 菊波正之助
解說 伊志井寛
他に書記及傍聽人和樂

八、三〇 時報、ニュース(東京)
八、四五 ニュース 氣象通報 番組豫告(滿語)
九、〇〇 舊劇
武家坡 新京鐵路局戲劇研究社票友
孟 普庵 郭 振寰 外文武場面諸位
九、四〇 趣味講座(鮮語)
滿洲の風習(一) 崔碧波
一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾賓)
一、講演 アルセニエフ
過去、現在、未來に於ける露西亞の子供達
二、ラヂオ、スケッチ
私が大人に成つた時 ペートリン作
カルポフ ペトローフ
ピアノ伴奏 ニコライエフ
三、ニュース

居住消息

▲大西鶴吉氏(滋賀縣)大連から吉野町二丁目十二番地へ
▲戸井田基一氏(北海道)吉野町二丁目十八番地へ
▲笹間長太郎氏(東京府)三笠町四丁目十三番地へ
▲菅野豪四郎氏(福島縣)羽衣町二丁目四號地ノ一へ
▲佐々木英增氏(香川縣)奉天から和泉町三丁目十六號地和泉方へ
▲神谷逸哉氏(愛知縣)錦町三丁目五號地第二錦ビル四十號室へ
▲山田金之助氏(愛知縣)奉天から中央通り十九番地へ
▲日置政一氏(岐阜縣)大連から曙町一丁目二番地へ
▲胡川豐氏(廣島縣)本溪湖から曙町二番地へ
▲富家泰三氏(和歌山縣)チヽハルから芙蓉町一丁目二號地へ

轉居

▲永井秀雄氏大同大街から中央通り十九番地消費組合洋服部へ
▲松永谷雄氏敷島寮から羽衣町三丁目十二號地ノ一へ
▲田邊猪次郎氏大和通りから吉野町五丁目十番地へ
▲秋葉規矩夫氏民政部西側から富士町四丁目二番地へ
▲山口友次氏興安大路から芙蓉町陸軍官舍六十八號へ

出生

▲德丸始氏(吉野町一丁目二十二番地ノ三)長女裕子さん二十二日出生

四月廿八日 日曜 甲戌 佛滅 破 畢宿 舊三月廿六日

●一白の人 一意專心に定業を守り辛抱するが第一なり 甲と庚と壬が吉
●二黑の人 競爭的に出るは失敗の基飲食も注意すべし 丙と丁と辛が吉
●三碧の人 健實に摸みなく働くときは新氣運に向ふ日 丙と丁と癸が吉
●四綠の人 事半ばにして緩みを生じ易し目上に問ふべし 丙と丁と癸が吉
●五黃の人 正しと思ひし事も識者に問ひて後行ふべし 丁と庚と辛が吉
●六白の人 木の實が芽を出し追々と伸びる如き良氣運 辛と壬と癸が吉
●七赤の人 口を愼しみ人の氣を損ぜぬ樣にすれば吉し 庚と辛と壬が吉
●八白の人 遠しと思ひし目的地も間近くなりつゝあり 丙と丁と庚が吉
●九紫の人 盛運の日なれども本分を忘るれば失敗あり 丙と丁と丑が吉

アメリカ銀暴騰は 思惑筋の策動
ロンドン方面の見解

【ロンドン廿五日發國通】最近アメリカに於ける銀政策は思惑筋の活動を極度に

活潑 ならしめて居るが之に反しロンドン有力銀塊仲買商連は興奮狀態を示さず依然としてアメリカ銀政策に對して冷靜且つ犀利なる批判の目を放つて居る彼等の見るところでは最近のアメリカ政府は殆んど海外市場で銀買入れを行つて居ないのであつてそれ故銀塊相場の昂騰は全く思惑筋の策動一方によるものであり今尙思惑は更に思惑を生んで居る有樣なのだが此の情勢より押して一部ではアメリカ銀政策の眞の目的は世界市場に於て銀を買入れるに非ずして只々思惑熱を吊り上げ以てアメリカの政治舞臺に於て一大勢力をなすシルバー、グループを懷柔するのが目的だと見る向きも出て居る又專門家間では現在の如き熱狂狀態は何時までも繼續することは不可能で結局は思惑筋が甚だしく窮地に陷ることとなるべしと豫想して居る、一方銀行方面は相場の

暴騰 に依り必然的に起る支那の通過混亂の增大と銀生產國たるメキシコに對する影響を注視して居る

內地水曜會
銀建値八十三圓八十三錢八厘

【東京國通】二十六日の內地水曜會銀建値は一瓩八十三圓八十三錢八厘と八十圓臺に引上げられたが米國財務當局は銀買上法案に依れば銀の値段が一オンスにつき一弗二十九仙に達する迄或は政府の銀保有高が正貨準備の四分ノ一に達する迄引續き國內新產銀を買上げる義務を負ふものであり現在の情勢を以てすれば一オンス一弗に達するのも近しと見られ從つて內地水曜會銀建値も百圓を突破し大戰以來の大暴騰を現出するものと觀測されて居る

滿洲特產工業會社
設立準備中

【奉天國通】既報鐵西宋廣町六番地に設立準備中の滿洲特產工業株式會社は安東日陞公司主金井佐次氏が卅年の尊き經驗を基とし昭和七年夏以來高粱、大豆、小麥等を原料とする精白、製粉及び各種加工食料品の製造に努力しつゝあつたが成功したので之を事業會社として經營せんとし各方面の賛助を得て設立計畫中のものである、即ち製飴原料製糊原料並に白米代用品、高粱米、燒酒、淸酒等を製造し日本內地を始め滿洲、支那、南洋各方面に販賣せんとするものであつて資本金三百萬圓、四分の一拂込とし一半は前記金井氏を始め元商工大臣松本治氏、大倉組副頭取門野重九郎氏、元滿鐵理事大藏公望氏奉天全省商務會長方旭東氏等發起人が引受け一半は近日中に緣故株を一般より募集する事となつたが同社の事業は農業立國の滿洲[illegible]業界には最適のものとして前途有望視されてゐる

チチハル商工視察團
日本に出發

【チチハル國通】龍江省實業廳では北滿商人の工場並に內地商人との連絡圓滑を期する目的を以て過般來日本商工業觀察團を組織中のところ、此程準備萬端整つたので廿六日午後一時卅分發列車で王龍江總商會長を團長とする團員九名は魯實業廳長以下著名士の見送りを受け朝鮮經由日本に向つた同觀察團は大阪、神戸、京都名古屋、東京の各都市を觀察の後五月十八日歸齊の豫定である

北鐵消費組合
廿日限り閉鎖

【ハイラル國通】當地北鐵消費組合は豫てよりハルビン本部よりの指令で割引販賣を爲し、庫品整理中であつたが、整理も一段落つき去る廿日を以て完全に閉鎖した

春耕貸款
吉林省各縣の割當額決定す

【吉林支局發】滿洲國康德二年度に於ける春耕貸款は耕地面積の尠い黑龍江省及び貸款の必要を認めざる濱江省を除き廿三日漸く決定をみた、總額は百[illegible]十萬元に上り其內吉林省に對する割當額は左の如く合計三十二萬五千元で總額の三七％弱に當つてゐる

各縣割當額

縣	割當額
敦化縣	四〇、〇〇〇元
樺縣	四〇、〇〇〇元
舒蘭縣	八〇、〇〇〇元
德惠縣	八〇、〇〇〇元
伊通縣	五〇、〇〇〇元
磐石縣	三五、〇〇〇元
合計	三二五、〇〇〇元

而して右の內に相當苦境にある永吉、額穆の兩縣がなく又最窮迫せる磐石への割當の少ないのは金融合作社の設置してある縣では成るべく同社を利用せしむることになつたが爲めである

土建ニュース

建設局

鈴木病院用地內鐵管撤去並西順沿路鐵管布設工事

落札 一九〇、〇〇	助川組
二〇五、〇〇	大信洋行
二八三、〇〇	田中組
二九五、〇〇	長谷川工務所
三五〇、〇〇	和曼工務所

東萬壽大街東側建國祠附近宅地鋪裝工事

落札 二四八、六四	先組
四九一、五六	岳南組
五四九、四二	宮本組
六五〇、〇〇	宅見組
キケン	東興公司

豫定工事

需用處 ハルビン專賣所ボタン江本社新築工事 二十九日 指名 梅本組

北鮮凶作罹災民
二千二百餘名間琿地方へ
廿六日から三回に亘り移送

【京城國通】滿洲移民として間琿地方の安住の地を拓くべく江原、咸南北凶作罹災民三百八十二戶二千二百九十七名は廿五日から三回に亘り夫々新天地に送られ間島及琿春九ケ所の集團部落に收容されるが之等移民の輸送に關し總督府楊事務官は移民の世話を爲すため廿四日午後三時五十分京城驛發北行した

商況欄
（四月二十七日前場）

海外經濟電報（四月二十七日）

倫敦銀塊	三六片四分一
同 遠限	三六片八分三
紐育銀塊	八一仙〇〇〇

京大線及關係地方 經濟事情（八）

新京商工會議所書記 岩淵滿雄

第二節 洮安縣城

一、平齊線洮安驛に續き高さ丈餘東西及南北各々七里の土壁に圍まれ從前は洮南市に壓迫されて商勢振はなかつたが最近は洮大線の開通を控へて活況を呈し人口一萬餘（康元、十一月）中內地人約一千、鮮人一百人あり邦人の發展は日覺しいものがある

二、官衙其他の主要機關としては縣公署、洮南日本領事館警察官吏出張所、電報、電話、郵政各局、中銀支行商會、農會等がある

三、商業者の有力なるは糧棧（王通棧、東昌盛）雜貨（天成厚、大興東）燒鍋（福豐達、滙源湧）油房（滙源湧玉通棧）等で日商としては食料雜貨商の廣島洋行、丸三洋行、丸八商店、福久屋吉見洋行の五軒と洋品雜貨店の信濃洋行、大和洋行、萬利洋行等が活躍してゐる

四、金融機關としては中央銀行支行及當舖がある

イ、中銀支行（康德二年二月末木行調査）

預金	二八、〇〇〇圓
貸金	一八二、〇〇〇圓

ロ、當舖としては東昌分當（國幣）が資本金八、〇〇〇圓でかなりの勢力を持つてゐる

第九章 開通縣

第一節 開通縣勢一般

一、元と蒙古科爾沁右翼前旗に屬し後遼、金、元の勢力下に移つたこともあり淸朝の光緖二十九年頃より漢人の移住する者多く翌三十年に置縣され現在は龍江省の管轄下に在る

二、龍江省の東南隅に位し東は乾安縣、東南は長嶺縣、南は遼源縣、北は洮南縣、西北は突泉總に隣接し一望千里の平原で砂地が多い、山岳河川無し

三、縣下一帶に砂地が多い爲め耕地も拓けず縣公署調査の康德元年度收穫高は大豆（一五千石）粟（一四千石）高粱（一一千石）其他合計五萬餘石は殆んど全部縣內に於て消費せられる、家畜は混計約二〇萬を有する

四、平齊線が縣の中央部を南北に從貫し主要驛は開通、邊昭、双崗、鴻興等であり道路は縣城を中心に近縣各地に通達してゐる、其の里程左の如くである

經路	里程
自縣城（丁家窩堡、八面山昭を經て）至安廣	一六〇里
同（王家窩堡、四海窩堡を經て）至乾安	一四〇同
同（劉升窩堡、故撫屯を經て）至長嶺	二〇〇同
同（多家窩堡、邊昭を經て）至鄭家屯	三六〇同
同（于林窩堡、興隆鎭を經て）至洮南	一四四同
同（王滿窩棚、大泥を經て）至瞻榆	一一〇同

水路の便なし

第二節 開通縣城

一、縣の略々中央部に位し高さ丈餘の土壁を繞らし東西二里南北三里の市街は街衢井字型に交叉し、大商舖と稱すべきものは見られないが夜間各商家が自店の前に各一個宛の街燈（ランプ）を設備してゐることは他の縣城に見られない特長である、人口一五餘中內地人二七、鮮人一二名が進出してゐるが內地人は大部分縣公署關係の官吏及其の家族である

二、官公衙其他の主要機關としては縣公署、電報、電話、郵政各局、商會、農會、國際運輸營業所、中央銀行支行等がある

三、資本金五千圓以上の商工業者は油房、燒鍋、糧棧等四戶で平齊線の開通に依り四平街方面に商範圍を奪はれ曾て對蒙古貿易の中心都市として繁榮を誇つた往昔の面影は見られない（了）

米棉

孟買銀塊	八三弗〇〇
スチール株	三二弗四分三
アナコンダ株	一三弗四分三
米英爲替	四弗八一仙二分一
米日爲替	二八弗四二仙
米支爲替	四一弗五〇仙
英日爲替	一志二片五分二
英支爲替	一志二片〇〇〇
英米爲替	四弗八一仙二分一
印日爲替	七八留比四分一

▲米棉

現物	一二仙二五
五月限	一一仙八五
七月限	一一仙八一
十月限	一一仙四九
十二月限	一一仙五六
一月限	一一仙五三
三月限	一一仙六七

▲印棉

ブローチ	二四三留比
オームラ	二一三留比
ベンゴール	一四二留比

▲市俄古小麥

五月限	一弗〇仙四分三
七月限	九七仙八分五
九月限	一弗〇仙八分三

▲カルカッタ麻袋

[illegible]筋	二六留比八分三
[illegible]筋	二三留比四分三

金銀市況

●上海標金

昨引	七五四、九〇	[illegible]
本寄	七四九、五〇	[illegible]
步	七五一、〇〇	[illegible]

●大連金鈔票

現物	[illegible]	
寄	[illegible]	
引	[illegible]	
出來高	[illegible]	
五月十三日限		

●大連鈔票銀大洋、●奉天國幣金票、●奉天國幣鈔票、●哈爾濱國幣金票（現物・寄・引・出來高・五月十三日限）[illegible]

銀と株
久記支店

新京取引所仲買人　奉天取引所仲買人　滿洲取引所仲買人　新京老松町十二　電長[illegible]　市場[illegible]

爲替相場

▲五月十二日限　同月[illegible]日限

●安東國幣金票

	五月十二日限	同月[illegible]日限
寄	一〇九、七〇	一〇九、五〇
引	一〇九、四五	一〇九、四〇
出來高	六万五千	一七万五千

▲四月廿八日限　五月十三日限

現物	一一〇、一〇
昨引	一〇九、八〇
出來高	十二万元
本寄	一〇九、八〇

▲上海爲替

▲日本向　第一回　第二回　第三回　第四回（賣・買）[illegible]

▲倫敦向　第一回　第二回　第三回（賣・買）[illegible]

▲紐育向　第一回　第二回　第三回（賣・買）[illegible]

▲大連爲替

▲上海向 [illegible]

▲煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替　第一回（賣・買）[illegible]

▲阪神日英爲替　第一回（賣・買）[illegible]

株式相場

▲大阪株式（短期）　大新・鐘新・日新・東新　寄・引 [illegible]

▲大連株式（短期）　五品・豆新・鈔新・東新・鐘產・日新・滿鐵・二新　寄・引 [illegible]

▲奉天株式（短期）　滿取・東新・鐘新・日產・大新・五品・豆新・滿鐵・二新・電甲　寄・引 [illegible]

商品・市況

	寄	引
同乙	九、三〇	[illegible]
東拓	三一、七〇	三一、七〇
東電	六四、五〇	六四、八〇
日興	三五、八〇	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
滿優先	二〇、二〇	二〇、〇〇

▲大阪綿花（四月限・五月限・六月限・七月限・八月限・九月限・十月限　寄・引）[illegible]

▲大阪棉糸（當限・先限）[illegible]

▲大阪人絹（當限・先限）[illegible]

▲神戸豆粕（四月限・五月限・六月限・七月限・八月限）[illegible]

特產市況

●大連大豆（現込・四月限・五月限・六月限・七月限・八月限）[illegible]

●同豆粕（現物・四月限・五月限・六月限・七月限）[illegible]

●同豆油（現物・四月限・五月限・六月限・七月限）[illegible]

●同高粱（現物・四月限・五月限・六月限）[illegible]

●哈爾濱大豆（七月限・八月限）[illegible]

●同小麥（五月限・六月限・七月限）[illegible]

●哈爾濱（五月限・六月限・七月限）[illegible]

株 福泰公司

滿取仲買人　新京東一條通[illegible]　電話六七八五番

新京取所引況市

（四月二十七日前場）

●大豆

現物（一石値段）　定期（混合百斤值段）　寄　引　出來高

	寄	引	出來高
現物			
四月限	—	—	—
五月限	—	—	—
六月限	—	—	—
七月限	—	—	—
八月限	四、四九	四、五七	三〇車

●高粱　四、五八五　四、六〇　三車

●鈔票對金票　十三日限 [illegible]　二十八日限 [illegible]

●國幣對鈔票　十三日限 [illegible]　二十八日限 [illegible]

●錢鈔 [illegible]

國幣對金票・鈔票對金票・國幣對鈔票・大洋對鈔票 [illegible]

寫眞說明

二十六日目に踏ませ給ふ新京驛に拜す皇帝陛下(右)と燦として輝く皇帝旗(左)

御還御第一夜の陛下

皇后陛下といとど御睦く "日本の"語らひに御過し

宮廷府のシャンデリヤも光彌增し

歡喜に滿つ國都の夜

盟邦日本の國民的感激のうちに尊き御使命を果せられた滿洲國皇帝陛下には去る四月二日輝しい御赴日の途に上らせられてより二旬餘、二十七日午後五時三十分

長途の旅の御疲れいさゝかも拜せられず宮廷府に御歸還あらせられた、御微恙のため御同列の御訪日を御取り止め遊ばされ御留守居を遊ばされた皇后陛下には御久方振りに皇帝陛下を御迎へして皇宮の御居間にて御睦まじく御別れ以來の御挨拶を交はさせられ御晩餐を共に召されたと承る、皇帝陛下には日本御訪問以來の事などを御感慨深く語られて御還第一夜を過させられたと拜察する、皇帝陛下が日本內地にあつて親しく御覽遊ばされた同胞の赤誠籠めた歡迎振りや陽春の

日本の麗はしき風光などをこま〴〵と皇后陛下に語らせられゝば皇后陛下には今更ながら日本國民の捧げた奉迎の眞情をくませられ畏くも深く御感謝の情を皇帝陛下と共に述べさせられた由である、皇帝陛下の御語らひのうちには日本御往訪以來沿道を埋め盡した國民の御歡迎や雨に濡れて數時間も沿道に立ちつくした幼い小學兒童の健氣な御送迎、又は宮中豐明殿に催された曠古の大饗宴と日滿兩皇室の輝しい御交驩、代々木原頭に擧行された皇軍精鋭の大觀兵式の情景或は關西地方の

明媚な景色のことゞもが御印象深く語られたと洩れ承る、かくて日滿國交史上深き〳〵意義と限りなき固き契りとをもつて華やかな一頁を飾つた滿洲國皇帝陛下御訪日の御盛事は兩國皇室は申すまでもなく兩國民につきせぬ感激を與へて玆に恙なく執り行はせられたのである、この夜の宮廷府は夜更けまで御庭園の新綠が御居間から洩れる電光に照り映え御訪日の榮光をいやましてゐた

熱誠なる御歡迎の誠意とは我が政府の永遠に感佩措かざる所にして貴我兩帝國の國交をいよ〳〵緊密ならしめたるは眞に御同慶に堪えず玆に謹んで閣下の絕大なる御高配に對し深厚なる感謝の意を表す

岡田總理宛

皇帝陛下には御豫定通り本日御恙なく還御あらせらる、誠に慶祝に堪えず、玆に謹んで閣下の絕大なる御高配に對し深厚なる感謝の意を表す

廿七日午後七時

各大臣宛

遠藤總務廳長

皇帝陛下には二十七日午後五時半御恙なく還御あらせられたが、右に對し滿洲國國務院遠藤總務廳長は御駐輦の東京、京都、大阪、神戶各市長各府縣知事宛左の如き謝電を發した

皇帝陛下には御豫定通り本日御恙なく還御あらせられ誠に慶祝の至りに堪へず

閣下の御懇切なる御高配並に貴市民の熱烈なる御歡迎の誠意は永遠に感佩措かざる所にして深く感激に堪えぬ玆に謹んで深厚なる謝意を表す

日本接伴員へ 沈宮相謝電

沈大臣は還御直後日本側接伴員に對し本日御安着の旨を報じ併せて皇帝陛下御在日中の厚意を感謝する旨の謝電を發した

招魂祭に侍從を御差遣

四月三十日の當地招魂祭當日皇帝陛下には畏くも于宗謙侍從武官を差遣代拜せしめられる趣である

警衛應援の警官歸任

滿洲國皇帝陛下御還幸御警衛の應援に來京中の沿線各署警察官は無事任務を果し廿七日午後十時新京驛發列車で新京署員の見送りを受け歸任した

無事大任を果し 欣びに堪へない

―沈宮內府大臣謹話―

皇帝陛下御訪日に首席扈從員の大任を無事果した沈宮內府大臣は二十七日夜御歸還を迎へた宮內府に於て劉秘書官を通じて左の如く語つた

二旬に亘る盛儀を無事に果し得た事は欣びに堪へません、これも偏へに皇帝陛下の御聖德の然らしむる處と存じ恐懼にたへません、今回の御訪日の御成果が日滿兩帝國を結ぶ固き楔となり其の影響する所に思を致しますると、終始その點に御留意深く御見受けする皇帝陛下の御態度は申すも畏き事で御座ゐます、殊に皇帝陛下御自身も常に御見聞を廣め、御智識を深うせられる御樣子を拜し扈從員一同は恐懼感激に堪へなかつた次第であります、私の特に感じました事は日本朝野を擧げての心からなる歡迎で盟邦の友誼に對して感謝の辭に堪へません

陛下の御意を體し 日滿親善强調へ

御盛事を永久に記念すべく 各種記念事業を計畫

皇帝御親らの御意に出で給ひ訪日の御盛事を果させられ、日滿國交の强化はもとより、東洋延いては世界平和の基礎を築き上げさせられた事は申すも畏き極みであるが、これは東亞民族の大きな誇りともなつた

殊に皇帝御發の前日南軍司令官の御送別午餐會に臨ませられて御沙汰あつた中に

貴我兩國間ノ關係親密ナルヲ以テ常ニ信使ノ往來アリト雖モ猶未ダソノ意ヲ盡サザルモノアルヲ惧ル

と仰せられた事は今回の御盛事を御發意になつた御眞意と恐懼拜察する次第で、滿洲國三千萬民衆は言ふも更なり、日本臣民も等しく其の御英邁なる聖慮に感泣を禁じ得ない所である、皇帝陛下のこの御言葉は日滿不可分關係を深く御洞察あらせられての御事であつて、日本への御憧憬が如何に御深くあらせられるかゞ拜察される又これは三千萬民衆に對し、躬を以て御示しになつたものであるとして、上は國民を預る人々から、下は一般民衆に至る迄其の御意を體して日滿兩國の親善提携に努力するの覺悟を新にしたのであつた

政府では今回の御盛事を永遠に記念し、國民精神の作興、國家觀念の高揚に資す可く各種の記念事業を計畫してゐる

日本各地への謝電

皇帝陛下御恙なく還御あらせられたるに對し、滿洲國鄭國務總理は岡田首相、湯淺宮內大臣宛、また各大臣宛に左の如き謝電を發したが、遠藤總務廳長も同樣左の如き謝電を御駐輦の各府縣知事並びに東京、京都、奈良、大阪、神戶各市長宛發した

鄭總理大臣

皇帝陛下には御豫定通り本日御恙なく還御あらせらる、まことに慶祝の至りに堪えず、

御友情御濃か

畏し御親電御交換

皇帝陛下には廿六日午後十二時大連御入港後日本御滯在中の日本皇室の御歡待に對し御懇篤なる御親電を發せられたが、右に對し二十七日午後一時 日本天皇陛下より御鄭重なる御返電あらせられたる由洩れ承はるなほ廿七日午後六時宮內府に還御のむねを更に御親電あらせられた

貴國皇帝の御懇篤なる御歡待を始めたてまつり貴國朝野の

空、海軍の擴大强化 豫算案下院通過

總額四億五千九百萬ドル 怖るべき米海軍費

【ワシントン廿六日發國通】米國下院は廿六日一九三五年より三六年に至る年度の海軍豫算案を審議の結果票決を用ゐずして同案を可決、直ちに上院に回附した、同案は眞珠灣その他海軍根據地の强化、空軍部隊の擴充海軍兵員の增加等を含み總額四億五千九百萬弗の莫大な豫算案であるが建艦起工費は豫算委員會で削減を加へられた儘である

ニユーヨーク銀塊 十五年來の大昂騰

第三次買上値引上げ迫る

【ワシントン廿六日發國通】ニユーヨーク銀塊相場は廿六日八一圓と一九二〇年十一月來の高値に暴進、政府をして第三次買上げ値段引上げを慫慂するに至つたが、ル大統領は目下モーゲンタウ財務長官と協議中だと傳へられて居り果して銀問題に就て協議してゐるのかどうかは不明なるも本日中にその結果が公表される見込である

銀價暴騰て 墨政府强制回收

【メキシコシチー廿六日發國通】メキシコ政府は銀價暴騰の情勢に鑑み廿六日銀通貨の强制回收令を發布し銀通貨をメキシコ國立銀行紙幣と引換へるべき旨命令した

花火に提灯行列に 歡喜の夜は更く

御歸京第一夜の國都新京

新京御歸還の皇帝陛下を仰いで二十七日夜の國都新京では文字通り感激と歡喜の昂奮に沸き立つたのである、全市民の熱誠は更に夜に入つて爆發するかのやう新京特別市公署を中心とする奉迎色に表徵され特別市公署奉迎諸團體よりなる三千四百名の一大提灯行列が蜿々火龍の壯觀を以て全市を火の海と化し西公園より大經路、西二馬路、大馬路、六馬路、長通路を經て宮內府前に歡呼の怒濤をなげかけ赤誠籠めた萬歲が三唱される、時に空を飾つて五十余發の奉迎煙火が打揚げられ寧宵に五色の彩光を點滅する、空も地も萬象全てが奉迎の昂奮と瑞祥に渦卷き正しく未曾有の豪觀を呈し午後九時を過ぎるに至つて漸く歡喜奉迎の幕を閉ぢたのである

孔子祭出席の 山東儒者入京

【東京國通】本鄕湯島聖堂復興を祝して廿八日から四日間開催される孔子祭典儒敎大會に對し派遣された山東省曲阜明德中學校長孔祥濡氏以下孔子、顏子の子孫等支部儒者十名の一行は廿六日夜入京した

偶語

土建界の活況期に入つて、市內の道路工事もそろ〳〵始まつたやうだがお蔭で到るところ交通止め▼それもお天氣の日なら我慢も出來るが、昨日一昨日のやうに雪でも降らうものなら、通行人の迷惑はこの上ない、途中馬車から下されてぬかるみを步く氣持は全く泣きたくなる▼かういふ偶語子、工事については一向不案內だが、お天氣の惡い日は作業は休んでゐることだらうし何とか緩和の方法はないものか▼たとひ交通止は解かれないにしても、これを最少限度に喰ひ止めて欲しいもの、敢て土木當事者にお願ひする▼櫻はないが西公園の花も見棄てたものではない、けふからあすへかけてお天氣なら隨分賑ふことであらうが、いつ見ても目ざはりなのは醉つぱらひの醜態だ▼いづれも日本人ばかりだが滿人の手前もある何とかお互に愼んで貰へばもつと明るく愉快にならう

人事往來

▲林博太郞伯(滿鐵總裁)同歸京
▲宇佐美喬爾氏(同旅客課長)同
▲猪子一到氏(同第一輸送課長)同
▲林顯三氏(同總裁部庶務課長)同
▲白井喜一氏(奉天鐵道事務所長)同
▲石村七太郞氏(同調査課長)同

社說

支那の國難は經濟的脆弱に　政治的混亂はそれの反映

恐慌にあへぐ資本主義列强がその苦難切り拔けのために取つた方法は植民地、半植民地よりの收奪の强化である。斯くて、支那の如きが最も良き目標として選ばれた。

◇

一九三〇年以前、銀價が昂騰しながつた間は支那は銀安のためにその輸出を有利に行ふことが出來た。そして國內の物價も同時に上昇した。そのため世界各國は物價の崩落に苦しんでゐたのに拘らず、支那のみはこれより分離された狀態になることが出來た。一九三一年、世界の銀行の銀行と言はれる大英帝國がその金本位を放棄し、支那の輸出入と重大なる關係ある日本、米國も金本金を放棄した。これがために支那國民經濟は大いに異狀を呈せざるを得なかつた。ただに輸出が減少したのみならず輸入は年を追ふて增加した。一九三四年には米國の銀買入れのために物價は昂騰し支那經濟の脆弱性は世界の前に暴露された

◇

一九三四年に於ける支那經濟の惡化の程度は實に前古未曾有のものであつたと言へる。たとへば財政方面に於いて每月一千五百萬元の不足を來した。二十一億餘の外債と八億餘の內債の元金償還、利息支拂ひは既にそれだけで財政の基礎を覆へすものであつた。而して收入の方面に於いては各種の稅收が減少し農產品の輸出又減少、一九三四年の輸出は一九三〇年の半ばに及ばなかつた。そして輸入超過は五億六千八百萬元に達した。現金は都市に集中され資金の過剩を來しつゝ、諸公債の買收に投ぜざるを得ず、農村の金融は極めて不活潑の觀を呈し、高利貸は機に乘じて不法な收得を貪つた。思ふに公債の激增、金融の硬塞、錢莊、銀行の破產、貿易の減少、手工業の崩潰、農產品輸出の著しき減少、對外支拂の增加（二億數千萬元の銀流出）——これらは金融を動搖させ商工業を震撼させたものであつた

◇

今日、支那政治に示されてゐる混亂はかゝる經濟的困難のなせる反映に外ならぬ。さき頃、「北平晨報」が「國民は熱心を缺き政府は方針を持たずごまかしてゐる」と痛論したのは筆者の注目を惹いた。われらもかゝる狀態が支那民族、支那共和國のために憂ふべきものであることを警告せざるを得ない。「失地回復」をいふ前に、自らの內容を整へることがなければ狂瀾はますます重大化せざるを得ないであらう。支那政治の健全性は、その健全なる經濟組織の上にこそ構築されねばならぬ

土地行政改正を前に

濱江公署資料を蒐集　所有權の確立を目標とす

【ハルビン支局發】農業立國を國是とする滿洲國の土地行政については、民政部において鋭意研究中であつたが、地方行政を甚だしく異にする國內の情勢より來る六月中旬頃中央土地局に於て第一回各省土地科長會議を召集し、地方情勢を基礎に根本方針を決定した上、いよいよ土地行政の確立に乘り出すこととなつた濱江公署でも中央の訓令に基き目下改正資料を蒐集中であるが、現在の土地關係の煩雜な弊を一掃するため大体次の如き諸項目について諮問檢討が行はれるものとみられてゐる

一、土地關係制度に關する各省の意見
一、省內の調査整理に關する意向及びその困難な點
一、地價、地目等級改正に對する意見
一、各省における地主不在地の面積及び地目
一、土地紛爭對處策
一、康德元年十月制定された土地制度に對する研究
一、現行土地法の改正
（イ）地劵（ロ）登記（ハ）土地台帳（ニ）稅契（ホ）押典（ヘ）商租永租（ト）地劵賣契典契執照などの發給手續

などで右確立の上は舊政權時代の不確實な土地台帳による土地所有權の不安は一掃される譯で、尙特に注目すべきは土地取扱事務を簡易化するため、縣、村、屯にその取扱機關を設置すべきや否やの問題が上程される筈で、之に關し省公署民政廳の土地科、行政科では鋭意研究中であるが、從來紛擾をつづけて來た土地問題が、土地會議の結果どの程度改革されるか頗る注目されてゐる

松花江異相！

降雪降雨不足のため　貨物輸送に大支障

【ハルビン支局發】本年度は降雪、降雨不足のため最近の松花江は極度に減水し、貨物輸送に大支障を來しつゝあるが四月上旬現在に於ける江下雜貨は大体次の如き數字を示してゐる

	大豆	小麥
樺川	八、三六六	六、二〇〇
佳木斯	三、四七七	一四、七四〇
三姓	四七、三五	四一九
富錦	二〇、三二九	三
其他	六六、八八二	三二四
合計	一六六、六六九	三一、六一三

大豆十六萬六千二百八十九瓲、小麥三萬一千六百十三瓲であり、その大部分は哈市を中心に北滿方面で買付濟みであるが、之を昨年の大豆約廿三萬瓲、小麥約五萬瓲のに比較すれば極度に品薄狀態である江筋特產物の出廻期に際して松花江の減水騷ぎで輸送杜絕の狀態にある現狀では、その船舶輸送能力は本年上半期（四月から七月まで）においては昨年に比較して約六割乃至は七割減と見られ、之が哈市經濟界に及ぼす惡影響は相當甚大なるものありと見られ憂慮されてゐる又に河下牡丹江、上流嫩江經由の木材輸送にも、赤每年十七、八萬噸集貨されてゐる鶴立炭の輸送にしても甚大なる影響を受けるものと見られてゐる右につき特產物だけに問題を限つて當地消息通に訊けば次の如く語る

特產物を中心として考へると輸送能力の五割減など余り有難くないが特產相場には微妙な影響をあたえてゐる、品薄であることも相場に織りこまれて、今の處安値材料など見つからず特產市場はそこ固乍ら高騰の一途を辿るものと豫想してゐる從來輸出本位に營業してゐた三井、三菱が河豆を買ひに出たことは、轉口稅の撤廢された關係もあるが、特に注目すべきで、三菱百二三十車、三井は七十車を哈爾濱定期に賣りつないでゐるかここのところ品薄と三菱、三井など日本商人の進出により河豆は飛躍的の相場を現出するであらう一方輸送の緩漫は、哈爾濱荷貨の積替作業に從事してゐる勞働者連中には相當打擊をあたえるであらう

"希望に副ふよう善處したい"

木材船輸送問題に關し　航業聯合局の談

【ハルビン支局發】既報の如く木材業者より松花江の木材船輸送に關し取扱手數料の徵收問題につき、航業聯合局に陳情請願書を提出し之が善處につき陳情したが、航業聯合局では左の如く語る

今回陳情の木材業者の希望條件は大部分容れられてゐるといつても差支へない

一、例へば配船關係の如きも、松黑運輸公司に申込んだものは松黑公司に配船するが、聯合局に直接申込んだものには申込者に配船することになつてゐる

二、取扱手數料　松黑公司は配船手數料は寄託運賃率の二分五厘を徵收してゐるが、聯合局に直接申込者に比較して申込む者はそれだけ余分の經費を支出することとなり、利害關係から打算して、松黑公司への申込者は自然になくなるであらう、尤もこの點まで聯合局が松黑公司に打合すべき筋合のものではない

三、通關手數料　之も轉口稅が撤廢されたので徵稅はしなくなつたが、稅關にその申告はしなくてはならぬ、その手續は既往と殆ど同樣である、然し時間的には非常に手數が省けるから手數料金は適當に輕減するつもりである

四、その他運貨並に附滯諸掛の取立問題、運賃支拂問題なども、聯合局としては出來るだけ善處して希望に副ふやうにしたいと考へてゐる

日支親善と英米の立場（下）

H、G、ウツドヘツド氏所論　「オリエンタル、アフエイアズ」所載

英米兩國の責任ある人々は大部分兩國の親善を外交政策の基調と見做してゐるに不拘、兩國の正式同盟に對する要望は兩國內に於いて決して一般的といふことが出來ぬ、況んや極東に於ける英國の舊同盟國に對抗するを目的とするものの如きをやである、英米の極東政策が日本を孤立せしめ、且つ太平洋に於ける地位をただ財政との均衡を失した軍備のみによつて維持し得ると信ぜしめるために目標を置いてゐないことは確かである

日本は國際聯盟を脫退したし又それに復歸する模樣もない　だがそのことは日本と西歐諸國との協調を排除するものではない、しかしかゝる協調はアングロサクソンの政策が極東を支配せねばならぬとの考へは明白に實現不可能である日本は歐米諸國に比し極東に於ける利害は更に切實であり經濟的にも一層重大な立場にありと信じてゐるし從つて支那の復興を援助するために協力する場合にも日本は必ずやその發言に對して前記立場に嚴賞する重要性を認めんことを主張するからである、日本の見解と願望が歐米諸國のそれと最初から一致するといふことは容易でない、だが歐米側は將來日本との協力を余儀なくされるであらう、過去數年間の教訓は歐米諸國及び彼等の理論—よしワシントンや歐洲各國の首都で如何に立派に見えやうとも—を東洋の一强國に押し付け得ないといふことを示した、若し—滿洲分割によつて生じた怨恨にも拘らず—支那が日本と友好的理解に到達し得るとせば西歐諸國はかがる成り立行きを妨害する事なく知つてこれを援助すべきである、極東に於ける西歐各國の眞の利益は純粹の西洋式概念によるおせつかいを日支兩國政策のために試みるよりもむしろ兩國の協力によつて促進されるからである日支關係が正常狀態に到る迄には多くのなすべきことがある、だがその過程は日本の參加を確保し得る對支共同援助の基礎が見出されることによつて促進されるであらう、しかも此の問題たるや緊急を要するもので若し斯かる援助の實效あることが判明せば一刻の猶豫なく實現すべきである財政部長孔祥熙氏は三月二十一日に述べて曰く「英國政府は現在の事態に對する吾人の意見と救濟計畫に關して質問すると共に利害關係を有する他の友交各國と當然協力して有效なる援助を行ふ用意ある旨を表明した、支那政府は勿論かゝる行動を歡迎するものでそのために現在の困難なる事態克服のために最善の努力を拂ふ旨を答へた」と、英國公使が北平及び南京で行つた聲明に鑑みれば英國政府が日本の諒解なくして或ひは日本を排除した何らかの計畫を案出するためにかゝる照會を行つたと想像することは馬鹿氣たことであるそして反日英米同盟計畫說がはげしい憤激を呼び起してゐる日本に於いても右の次第が充分に理解せられたならばいかなる對支國際融資案にも反對であるとする東京のハツキリした政策に對しても吾人は若干の變更を期待して良いのではあるまいか

滿洲國辭令

蒙政部屬官　小林　鈔
給月俸八十五圓蒙政部總務司勤務を命ず
蒙政部屬官　木村　正健
給九級俸蒙政部總務司勤務を命ず
興安警察局巡官　越智　歲明
給月俸七十五圓開魯興安警察局勤務を命ず
興安警察局巡官　坂口　清治
給七級俸扎蘭屯興安警察局勤務を命ず
國道局技士　康德二年三月一日　中田　正
給月俸八十五圓國道局第一技術處勤務を命ず
國道局技士　鹿毛　博人
給九級俸國道局第一技術處勤務を命ず
任國道局技正敍薦任二等　康德二年三月一日　江守　保平
任國道局技佐敍薦任四等　照井隆三郎
任大同學院教授敍薦任四等　康德二年四月十二日　松浦嘉三郎
稅務監督署屬官　康德二年四月十五日　吉村　武市
兼任財政部屬官敍委任二等
專賣公署技士　康德二年三月十八日　一宅久米一
轉任專賣工廠技士敍委任二等

康德二年四月五日　吉黑榷運署屬官　江村　重藏
轉任財政部屬官敍委任二等　康德二年四月十五日　日影　末夫
任蒙政部屬官敍委任二等　康德二年四月十一日　石光　勝
任國道局技士敍委任二等　康德二年四月十日　富岡　政次　鳴原　利三　平田　正二　橋本　奥雄　米田　稔　白石　文彥　西村　節夫　佐藤　孟
任國道局技士敍委任三等（各通）康德二年四月十二日　森　富男
任國道局技正　康德二年四月十三日　江守　保平
給二級俸國道局第一技術處勤務を命ず
國道局技佐　照井隆三郎
給五級俸國道局第二技術處勤務を命ず
大同學院教授　康德二年四月十二日　松浦嘉三郎
給六級俸
稅務監督署屬官　康德二年四月十五日　吉村　武市
給六級俸
吉林稅務監督署轉勤を命ず
財政部屬官　吉村　武市
財政部稅務司勤務を命ず
專賣工廠技士　康德二年三月十八日　一宅久米一
給六級俸財政部稅務司勤務を命ず
財政部屬官　康德二年四月五日　江村　重藏
給六級俸財政部稅務司勤務を命ず
蒙政部屬官　康德二年四月十五日　日影　末夫
給六級俸蒙政部民政司勤務を命ず
康德二年四月十一日
國道局技士　石光　勝
給五級俸國道局奉天建設處勤務を命ず
康德二年四月十日
國道局技士　富岡　政次
給月俸百五圓國道局齊齊哈爾建設處勤務を命ず
國道局技士　鳴原　利三
給月俸九十五圓國道局齊齊哈爾建設處勤務を命ず
國道局技士　平田　正二
給九級俸國道局第一技術處勤務を命ず

國道局技士　橋本　奥雄
給七級俸國道局齊齊哈爾建設處勤務を命ず
國道局技士　米田　稔
給九級俸國道局第一技術處勤務を命ず
國道局技士　白石　文彥
給八級俸國道局第二技術處勤務を命ず
國道局技士　西村　節夫
同　佐藤　孟
給九級俸（各通）國道局第二技術處勤務を命ず
康德二年四月十二日
國道局技士　森　富男
給八級俸國道局第二技術處勤務を命ず

康德二年四月十三日
監察院審計官　植田貫太郎
轉任新京特別市公署總務處長敍簡任二等
康德二年年四月十六日
濱江省公署督察官　島田吉五郎
陸敍薦任六等
康德二年一月三十日　津田　豐
任副領事敍薦任五等
康德二年四月十七日　里地　德郎
任哈爾濱特別市公署屬官敍委任二等
橋本　龍次　竹山賢二郎　竹村　忠男

商況欄（四月廿七日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　七七〇、〇〇　後歩　土曜日　午後休會

●大連金鈔票
現物　寄付　一三四、〇〇　引　一三四、九〇
五月十三日限　出來高　三〇万　寄付　一三四、三〇
五月廿八日限　四、四〇　四、三五　四、三〇　四、三〇　四、三五　四、四〇　出來不申

●大連鈔票銀大洋　現物　一三七、五〇　一四〇、〇〇　出來高　一二〇万
●奉天國幣對金票　現物　一〇九、八五　一〇九、六〇
▲五月十三日限　寄付　九三、〇〇　引　九二、五〇　出來高　一三萬

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向　第一回　賣　一四三、七五〇　買　一四四、二五〇　第二回　賣買　午後　第三回　賣買　休會
▲倫敦向　第一回　賣買　一志八片八分三　一六分七　第二回　賣買　休　第三回　會
▲紐育向　第一回　賣買　四一弗八分〇〇　八分一〇　第二回　賣買　休　第三回　會

▲大連爲替
▲上海向　一〇八〇〇〇　一〇七八五〇／一〇七九〇〇　一〇八一〇〇／一〇七八〇〇　一〇八四〇〇／一〇七七〇〇　一〇八二〇〇
▲香港向　一〇七三〇〇　一〇八四〇〇／一〇七三五〇　一〇八四〇〇／一〇七四〇〇　一〇八〇〇〇／一〇七八〇〇

新京取引所市況（四月二十七日後場）

●大豆　現物（一石値段）　定期（混合百斤値段）

	寄	引	出來高
現物	―	―	
四月限	四、四四〇	四、四四〇	一車
五月限	四、五〇〇	四、五〇五	二車
六月限	四、五二〇	四、五三〇	六六
七月限	―	―	
八月限	―	―	

●高粱

	寄	引	出來高
現物	―	―	
四月限	―	―	
五月限	―	―	
六月限	三、五五〇	三、五五〇	一車
七月限	三、六一〇	三、六〇〇	二車
八月限	―	―	

●鈔票對金票　十三日限　一三四、六〇〇　二十八日限　一三四、四〇〇　寄引　出來高　三万二千
●國幣對鈔票　十三日限　八一、二〇〇　八一、三〇〇　二十八日限　出來高　一萬二千

手形交換（二十六日）
金票　一二六枚　二六、四五、四〇
鈔票　五枚　九一、五三、四〇
國幣　三枚　二一、一四〇、〇四九

特產市況

●大連大豆　受込　四、九六　四、九九
四月限　―　―　五月限　五、〇三　五、〇三　六月限　五、一二　五、一一　七月限　五、一九　五、一八　八月限　五、二三　五、二四
●同　豆粕　現物　一、五三〇　一、五三五　四月限　―　五月限　一、五三五　一、五三〇　六月限　―　七月限　―　八月限　―　九月限　―
●同　豆油　現物　一四、七〇　一四、五〇　五月限　一四、六〇　一四、六〇　六月限　―　七月限　―　八月限　―
●同　高粱　現物　四、一九　四、一九
▲哈爾濱大豆　五月限　一、一七三　一、一八〇　六月限　一、一九三　一、一九五　七月限　一、二三五　一、二三五
●同　小麥　五月限　一、五七五　一、五七〇　六月限　一、五八〇　一、五八〇　七月限　一、五九五　一、五九〇

株式相場

▲阪神日米爲替　第一回　賣買　休會
▲阪神日英爲替　第一回　賣買　休會　第二回　賣買　休會

▲大連株式（短期）

	寄	引
五品	一九、七〇	―
豆新	二四、三〇	―
錢鈔	三一、五〇	―
東新	一三二、九〇	―
日產	一〇〇、九〇	―
鐘新	一三六、五〇	―
滿鐵	六五、五〇	―
二新	二七、四〇	―

▲奉天株式（短期）

	寄	引
滿取	一三三、六〇	一三三、六〇
東新	一三六、九〇	―
鐘新	一〇一、六〇	一〇〇、七〇
日產	九四、九〇	九四、七〇
大新	二〇、五〇	一九、九〇
五品	二四、四〇	―
豆新	一六、九〇	一六、九〇
電甲	一三、六〇	一三、七〇
同乙	六五、四〇	六五、六〇
滿鐵	―	―
二新	九、四〇	―
東拓	三、六〇	―
東亞	六四、七〇	六四、五〇
日會	二五、七〇	―
滿興	―	―
滿毛	一九、六〇	一九、五〇
優先		

畑週報現物氣配

銘柄	拂込	最近配當	時價
四分利（二）	一〇〇、―	四	九八、七〇
滿洲建國	一〇〇、―	五	一〇一、二〇
滿洲四分	一〇〇、―	四	九七、〇〇
正隆銀行	五〇、―	四	三〇、五〇
滿洲銀行	五〇、―	四	三〇、五〇
滿鐵新株	五〇、―	五	三〇、〇〇
新京電燈	二〇、―	八	二七、五〇
東京電新	五〇、―	四	四七、五〇
大同電話	一二、五〇	繰越	九、〇〇
電信乙	一二、五〇	六	××一七、〇〇
電信	一二、五〇	六	××一四、〇〇
新京取引	二五、〇〇	欠損	一〇、八〇
東洋拓新	二五、〇〇	繰越	九、四〇
不動產信	一二、五〇	五	八、二〇
鞍山不動	二〇、―	繰越	七、五〇
旭紡績株	三〇、〇〇	六	一四、〇〇
滿洲紡績	五〇、―	一〇	六二、八〇
滿洲製麻	二五、〇〇	一〇	五七、八〇
奉天麻新	一二、五〇	一〇	一九、五〇
日滿亞麻	一二、五〇	未配	七、五〇
滿蒙毛織	四〇、―	七弱	二九、〇〇
滿洲棉花	一二、五〇	六	一一、五〇
日本糖新	三七、五〇	一〇	六〇、四〇
北海製糖	五〇、―	八	四三、五〇
滿洲麥酒	六〇、―	未配	三〇、三〇
日滿製紡	五〇、―	未配	四一、〇〇
商船新	一二、五〇	五	一三、三〇
川崎造船	五〇、―	未配	一六、三〇
滿洲興業	二五、〇〇	八	二五、六〇
土木企業	一二、五〇	八	二一、五〇
新京建物	五〇、―	一〇	二九、〇〇
東亞殖產	二〇、―	五	一〇、一〇
大同產業	二〇、―	無配	四、八〇
太陽產業	五〇、―	無配	四、七〇
周水土地	一二、五〇	無配	三、二〇
滿洲工廠	二〇、―	八	二二、五〇
滿洲化工	二五、〇〇		三一、二〇
日滿アルミ	二五、〇〇	四	二〇、四〇
東滿パルプ	一二、五〇	未配	八、三〇
東亞煙新	二〇、―	九	三三、四〇
滿洲煙草	一二、五〇	未配	四、八〇
日魯漁新	一二、五〇	一二	一七、八〇
滿洲セメント	一二、五〇	未配	一一、二〇
哈爾濱セメント	一二、五〇	未配	一一、三〇
日本電工	五〇、―	三	××七〇、五〇
同新	一二、五〇	三	××二〇、〇〇

北滿

滿蘇直通電話
歐亞連絡會議を契機として
意外に早く實現か

【ハルビン支局發】滿蘇間直通電話の開始は單に兩國の利益のみならず廣く國際通信上一新紀元を劃するものと各方面から多大の注目を拂はれてゐるが、電々會社は近く開催さるべき歐亞直通連絡會議に電信電話の直通も併行的に審議さるる機會を摑んで、之が直通につきある種の意志表示をなし滿蘇直通電話の實施に乘出さんとしてゐる、周知の如く大同元年迄は浦鹽、ハルビン間直通電話は實施されてゐたが、その後ある種の事情のため中絶したるまま今日に至つてゐるが、滿洲國側でも之を遺憾とし復活に努力する模樣である、モスクワとの直通については、舊北鐵時代は秘密電線によつて舊北鐵幹部と蘇聯政府間には直通電話により通話されてゐた事實があるが、北鐵接收後は秘密電線も撤去されてゐるので目下の處、モスクワとの直通は技術的に困難と言はれてゐるともあれ連絡會議を契機として滿蘇直通電話開通が案外早く實施されるはこびになるかも知れず成行き注目されてゐる

雨だ、雨だ！松花江增水
愁眉を開く航運業者

【ハルビン支局發】三十年來にない松花江の水涸れに悲鳴をあげてゐた航業聯合局では二十五日夜から二十六日にかけての大雨にやゝ愁眉を開いてゐるが同局總經理高畑誠一氏は右に就き語る

既に開江期に這入つてゐるにも係らず御承知の通り松花江の水瘦で當局の仕事は殆んど休業狀態で富錦を數日前出た船がいまだに三姓の淺瀨で立往生をしてゐる始末である、しかし今度の雨で哈爾賓附近の水が下流に流れて行くから三姓の淺瀨も或は通過出來るやうになるかも知れない、又電報で照會したところによると新京、吉林方面の上流地方にも同じく大雨があつたからその水が第二松花江や拉林河を經て四五日中には哈爾賓へ流れて來て水嵩も增すので待機中の各船は一齊に出動することが出來るだらうと豫測してゐる

“新撰組”
討匪行へ

【ハルビン支局發】濱江公署警察廳直屬の清鄕警察隊は廿二日、廳員の激勵の言葉に送られて馬蹄も輕く隊伍堂々討匪行の壯途に上つた、先づ阿城縣公署において二、三日間實地訓練をなしていよ〳〵蠢動期に這入つた匪賊に徹底的打擊を與ふべく中部山嶽地帶の阿城、賓、珠河、葦河、双城縣一帶に出動するはずで、その行動は各方面注目の的となつてゐる、高山司法科長は語る

迂余曲折を經て、やつと念願通りの討匪專門の警察隊が誕生した全滿を通じておそらく最初の試みであらう自分としては直接關係してゐるだけにその成功を祈つてゐる、白系露人を採用したことも社會的に好反響をもたらしたと信ずる

東滿

農村救濟策として鮮農集團部落建設
磐石縣當局移民獎勵に努力

【吉林支局發】磐石縣下に於ける水田の面積は約一萬三千五百晌に上ぼつてゐるが、事變以來匪賊の壓迫を蒙りて現在耕作されて居るのは五分の一の二千五百晌に過ぎず他は荒廢の形になつてゐるので、縣當局に於ては昨夏來の水害冷害により地方農村が不況のドン底にあえゐでゐる折柄、之れが打開策の一端として同縣下一帶に朝鮮集團部落を建設するの案を立て、先般來着々準備を進め移民獎勵に努めて來つた結果、第一回移民として約六千名の鮮人を本月上旬迄に移住を完了せしめ、警察署員、自警團員等が積極的に保護の任に當り一部落五六十人に分れ耕作準備に着手してゐる、之等移民の大部分は朝鮮、間島、奉天、吉林等より移住せるもので將來は磐石縣下のみにて二萬石の米を產出し得る見込みであるが、同地方の滿人農民は水田事業には全然關係なく利害の衝突もないので彼等も鮮農の移住を心から歡迎して居り兩者の關係は極めて良好であると

滿洲の安寧（四）
民政部總務司長　清水良策

此の外治安の確保上特に重要な問題は集家法並保甲法の實施であります、國內治安維持の爲には專ら其の實に當る警察力の充實を必要とするは勿論でありますが、先にも申しました樣に一般國民の自警自衛心に俟たなければ到底其の完璧を期することは出來ないのであります、且つ一方建國以來相次ぐ天災と匪賊の跳梁とによりまして、農村は極めて疲弊しておりますので警察餘の充實、職業的自衛團の增加は地方財政の狀況から到底地方人民の負擔に耐へ得ないところでありますから民衆の負擔を少しでも輕減すると共に其の自衛心を誘起するが爲茲に集家法並保甲法を實施することとしたのであります、集家法は所謂集團部落の結成でありまして之は從來の樣に民家が分散していくのでは部落間の連絡、統制並情報の蒐集等非常に困難でありまして治安維持に付きましても只勞費のみ多くして到底所期の效果を期待することと困難なる上に、保甲法の實施と極めて密接なる關係を有しますので政府に於て相當の經費を補助して分散家屋を可及的に或中心地に集合せしむることに致しましたのであります

集家法の實施と並行しまして本部に於て最も力を注いで居りますのは保甲制度の實施であります、保甲制度と申しますのは支那の古き傳統を有するものでありまして、民度低く而も軍警の力不充分なる地方に於きましては理想的の制度であらうと思ひます、特に過渡的な時代にありまする吾滿洲國に於ては最も適切なる方策と考へるのであります、此の制度は要するに隣保友善を旨としまして、共力して地方の安寧を保持し不測緊急の危害を防止するため設けられたものでありまして、警察の補助機關として、地方の自警自衛に任ずるのであります

次に一般社會問題に付て申述べたいと思ひます、建國以來相續きました全國的大水害は舊軍閥時代の苛斂誅求に依て全く生色を失つてをりました農民を更に困窮のどん底に陥らしめたのであります、中央政府に於きましては建國匆々未だ中央の諸施設も整はざる時でありましたが其の慘狀實に忍び難いものがあります一方之が社會人心に及ぼす影響と國內安寧秩序を維持する上に於て之が救濟は一日も忽にする事能はずと認めまして夫々應急の善後處置を講じますと共に中央に於て救濟委員會を組織して恒久的對策の樹立に盡力し來つたのであります然し乍ら農民の困窮は到底一朝一夕に恢復することは困難でありまして一方には世界經濟界の不況に基因する滿洲特產物の値下りを招來しまして益々農村の疲弊を來すに至つたのでありましたが中央政府に於きましても夙に現地參事官と連絡して徹底的に實狀を調査し、減稅其の他の方法に依りまして農村の更生策を講じますると共に巨額の救濟金を支出したのであります、更に農民の自力更生を計るため各地に義倉制度の實施、金融合作社の設立、共販組合の設立等に着手しまして穀物の買上、貯藏、市價の調節、農村金融方法の樹立、生產品の共同販賣等一般農民の福利增進の方途を企てたのであります又一般的社會事業としましては貧困者の調査、救濟院並施療所の設立、巡回施療、施粥の實施等によりまして貧困者の救濟浮浪人の善導等に努力する外我國に於て最も社會的な害毒を流して居りまする阿片吸煙の禁止法を制定しますると同時にいん者に對しては極力之が救濟方法を講じて居るのであります

產業調查局漁業調査に乘出す

【吉林支局發】新に設立された滿洲國臨時產業調查局に於ては漁業の獎勵に依る困憊農村の救濟策の發見を目標として近く技士阿部達夫氏以下四名を吉林省に派遣し五月七日より六月三日迄二十八日間に亘り楡樹、扶餘、舒蘭縣は五月七日より十二日間、扶餘縣は二十二日より十四日間、楡樹縣は二十九日より五日間で、此約一ケ月の間に三縣內の大小河川に就て水流、魚族、生棲魚數、漁場等諸般の調査を行ふ筈である

福田隊長表褒さる

【間島支局發】前咸鏡北道城津警察署長、現圖們國境警察隊長福田繁藏氏は在任中、昭和七年十月城津赤色農民組合の治安維持法違反事件の檢擧に際し複雜錯綜して居たその犯罪行爲を摘發し一味百二十二名の檢擧に盡力したその功勞の顯著なるに依り四月十五日竹內咸鏡北道知事より之れが褒狀を贈られた

南滿

泉頭丘陵にセメント工場設立
供給難を打開す

【四平街支局發】滿洲國諸施設の飛躍的發展に伴ひ建設基礎材料としてのセメントの需要は建國以來八十五萬瓲の實需を見明年は六七十萬瓲の消費を豫想せられ一面建設企業者間に是が供給難が叫ばれる折柄滿鐵沿線泉頭丘陵地に埋藏する優良原鑛に着眼し發起人小野田セメント製造株式會社を主体とした日滿合辦滿洲小野田洋灰股份有限公司を企劃會社設立の趣意書を發表株式募集を一般に應募すると共に泉頭驛南方平地に假事務所を設置北村建設主任が一切の指揮を爲し工場建設が着々進行しつゝあり同會社の今後の發展は一般から多大の興味を以て期待されて居る、北村主任は建設に關する抱負を左の如く語つた

鑛區の埋藏量は約五千萬噸の埋藏量を有しセメントの原料としての品質も申分なき最優良品だ泉頭の地域は新京、奉天の大市場を南北に控へ北滿への進出も容易有利な地域に位し、資本並に技術方面に就ては日滿人協力し且小田セメントの優秀なる技術的効果を遺憾なく發揮すると共に製品の販賣は三井物產の販賣網を通じて內外に供給する好條件に惠れて居る

工場建設動力水道社宅社線專用の滿鐵本線引込鐵道學校病院等一切の建設事業は明春三月頃には完了せしめ四月からは製品を市場に御目見得させる計畫だ、工場員は大体七十家族本年末には渡滿するし滿人一五〇家族を加へ泉頭今後發展は目覺しいものがあるだらう

因に工場建設場より北方約二十の地點には昔時日露戰役明治卅八年九月十三日福島少將オラノフスキー少將と西沙河子會見し休戰締約を爲したる歷史的地史を有し休戰締約記念碑は工場の建設と共に此方面にも深く留意し植樹芝草の植付等美化計畫が進められて居る

TAVANNES
CYMA

天昇
梅ヶ枝町一ノ百六
電話四七六一番

英國製高級煙草
フェデラル
コルク口付
federal

春の服飾
ネクタイ
中折帽子
婦人帽子
洋傘
ダイヤ街
電話四九六〇
寶山洋行

特
醬油景品附大賣出
景品總額金七千四百余円也
賣出規定
期間 自三月一日 至五月末日
抽籤日 昭和十年六月六日
景品引替 自六月八日 至六月末日
景品
一等 金五拾圓勸業債券 貳拾本
二等 絹綿入夏ふとん 四拾本
三等 浴衣 四百本
四等 シロップ貳合瓶 八千本
五等 硝子コップ三個 タオル一枚 一萬一千五百四十本
合計貳萬本
花は櫻! 醬油はキツコートク
新京大經路
合名會社 伊豫組
本社 奉天松島町
電話六八八六番
(市內各食料品雜貨木炭商にて御買求を乞ふ)
他・甘露醬油・白口醬油・淡口醬油・の種類が御座います

廿周年記念
特賣デー
絶好機!
ダイヤ
ヒスイ
時計
寶石堂
新京祝町キネマ前
電話三三一八番

學藝欄

晩春騷夜曲の放送
天長節奉祝プロに編入
意氣込む出演聲優たち

既報の如く本社學藝部の主催によつて新京ラヂオ、ドラマ研究會の人々が演出する近東綺十郎原作晩春騷夜曲三景―は會員の熱心な練習によつて好成績を擧ぐべく期待せられてゐるが、來る廿九日の天長節奉祝の舞台劇の午後(東京中繼)のトップを切つてマイクに決定、スキッチは午前十一時五分(日本時間午後零時五分に切られることになり、滿洲文化運動の一翼たるべく眞摯な意氣を燃してゐる同會員達のため大いに期待せられてゐるが、放送局の都合により、萬一東京が二十七、八日に降雨なれば六大學リーグ戰の中繼を二十九日に順延するため、或ひは天候の模様で變更せらるるかも知れないと、尚、當日の配役その他は左の通り決定した

▲放送指揮　近東綺十郎
▲擬音効果　山口愼一
▲音樂効果　和波黨
▲配役
若い夫花房…檀田周平
その妻美耶子…千葉一子
酒場バルセロナのマダム…佐々木ナナ子
女給銀子…青木英子
同加代子…土屋百合子
友人中林…和田郁天
同川　路…山川渡
外大ぜい

旅行便り (十五)
新京商業學校

門司から
―第十六信―

出湯の町は靜かに明けた、霧がたちこめてひんやりとした空氣の中にも何とも云へない溫泉情調がたゞよつて居る、五時半起床の爲か眠たい体を浴場に運び、ほの〴〵とした湯げの中に思ひきりよく這入る、朝風呂、滿洲では正月位いでなくては這入れないのだ等と考へて居ると母國を去るに際して色々な内地の姿か走馬燈の樣にぐる〳〵と頭の中をまわつて居る、櫻の美しさも良かつた、雨にもあきて來た今日此頃晴れた日の日本の空が仰ぎたかつた、神社、佛閣の見學で懷古趣味にひたるのも良いが、我々は活躍して居る母國のゼネラルセンターを見學した方が良かつた樣にも思へるETC

別府の町にも最後のさよならをして七時五分門司行の車中の人となる、車中あと僅か數時間後には懷しの母國の土をはなれると思へば名ごりのつきぬ車窓の風物をあきたらず眺める我々であつた門司驛十時四〇分持されない荷物をウスリー丸まで運ぶ時これが內地の牧穫かと思へば心細い感が心のどこかでするのであつた。(坂井)

門司から(出帆)
―第十七信―

門司驛着は十時四十分。驛より我等の乗るウスリー丸まで歩るいて行く、內地でしこたまお土産を仕入れた爲か皆落し物が多くなつてきたさうだ船に乗ると、僕等の座席はすでに取つてあつた。持ち物を置いてから町へ出る―十二時出帆なので十一時半まで門司の町を自由散歩、唯一三十分しかないのだ―町にはバナナ、ネーブル、竹の子等を賣つてゐた「學生さん買つてゐらつしやい買つてゐらつしやい」「大連の土產にはバナナが無いと」門司から行つた印がありません」等と色々賑ぎやかだ、もう時間も無いので船に歸る、船では天然痘が一人出たと云つて消毒してゐた―おかげで船は一時間遲れる―し僕等は種痘されてしまつた―上甲板の一等船客歩遊場で我等一行六十五名の記念寫眞を寫す

此れはウスリー丸の者が寫したもので、今日の夕刊の各新聞に乘せるものださうだ、もう十二時の出帆が間近かになつたので甲板に出る色とり〴〵のテープが船客の手と見送人の手又船客の手にと取りつながつて別れの悲しさもまぎらすばかりに美しいほんやりと見つめてゐると後の方で騒がする「おい!出帆は一時になつたぞ!」何んだらうと振りかへつて見ると、見も知らぬ男だつた、しばらくすると友達が來て「天然痘が一人出た爲に一時間遲れる」と云ふ―しばらく見送りの光景を見てゐたが―此處に居ても、つまらないので船尾の方へ歩るいて行く　(平山賜郎生)

(滿洲詩選) 黄昏の前

衣　冰　作
川内　堯　譯

雲が流れて窓に黒い影を散らす
心がひえ〴〵と薄ぐもる
春の風の吹くのは何時か
黄ばんだ顔を元氣づけ
眼を生き〴〵とかがやかせるのは
裝ひ成れば
霞は樹木の梢に
いつまでもかがやき
いつまでもとどまるであらう
樹木は靜かだ
希望は遠い
灰のやうに暗い
地球はいま冷えて
熟は
ただ私の心の片隅にあるだけ!

新京の武道界展望 (四)
九年度劍道部業績

△四月廿二日　春季劍道大會(於滿鐵大連道場)出場　監督佐藤倉之助(商業)選手牧胤満(地事)、野島利道(興業)

△五月八日　劍道部幹事會(於益濟寮中食堂)出席者、生方德行、野村社會主事以下十三名
全國武道獎勵事項、慶祝大典出場の件等審議して散會

△五月廿七日　慶祝大典記念全國武道大會(於西公園)出場　監督谷川金太郎、選手、吉田文雄、中関薫、中村時男、友岡正人、野村利道、生乃德行　善戰四回戰に破る

△七月二十九日　滿鐵各支部對抗劍道大會(於奉天)全新京の闘將吉田文雄(三段)統率出場奉天道場に於て午前九時入場式終了後大連對瓦房店の第一回戰開戰績左記の通り

第二回戰
(大石橋)尾　毅―〇〇丸　山(新京)
金　光―〇〇飯　田
今　坂―〇〇古　市
〇大　迫―〇〇松　浦
生殘原田―〇〇濱　邊

第五回戰
(新　京)(撫　順)
丸　山―〇〇外　村
〇飯　田―〇〇川　島
〇〇古　市―〇　撫
〇〇松　浦―〇〇黒　岩
〇〇濱　邊―〇　中　嶋

第八回戰
(新　京)(大　連)
丸　山―〇〇大　森
古　市―〇〇柳　田
〇〇飯　田―〇　於　田
〇〇松　浦―〇　南　保
〇〇濱　邊―　菊　地

第十回戰
(新　京)(瓦房店)
〇〇丸　山―　楠　原
〇〇飯　田―　小助川
〇〇古　市―〇　武　井
〇〇松　浦―　北　原

〇(清地)―松　山

得點表

新京	10	6	6	10	32
撫順	6	8	9	8	31
大連	7	5	7	4	23
瓦房店	6	7	5	3	21
大石橋	1	6	5	1	13

個人優勝戰
一等　撫順　外村、二等　大連　柳田、三等　新京　濱邊

新京軍に凱歌擧り日時終了、本年は新京軍三回連勝の事とて驛頭に佐藤教師外多數出迎した、此日新京柔道軍は決勝戰で大連に破れ、共に其眞價を擧げた事は佐藤、谷川、光田氏(劍道部)の實力が如實に物語られる、選手諸兄も大いに健闘された事を感謝したいのである

爆撃機
文化の問題への關心に就て

文化の問題について其衝にある者の關心すらが、滿洲では大變缺けてゐると思ふ、たとへば放送局の幹部諸公は新京にどんな音樂家がゐるかを御存知ないやうだ。そりや家庭人としてだまつて居られるから、普通人は知らん、しかし職としてこういふものを扱ふ者は音樂學校の同窓會名簿ぐらゐ取り寄せて調べる熱意が無くちや折角の百キロが泣くよ!

滿洲人の文藝だつて、文教部あたり、才能ある者の存在を知つてゐるのか? これを引き上げ育て上げる用意が出來てゐるかお訊ねしたい、そういふ文化への愛がないから力のある者が田舍の小學校などにくすぶつてゐるんだこれぢや滿洲國文化の健全な成長は望めない、まだいろいろ言ひたいことはあるがとりあへず第一發を放つて置く　(南山　蔵)

ソヴエート最近の音樂界 (四)

ショスタコーウイッチ(テイミトリー)

十五週年記念として第三交響曲「メーデー」を發表し、次いで歌劇「カテリナ、イズマイロワ」を發表、更に洋琴協奏樂を完成し、何れも絶大の成功を得てソヴエート第一の天才青年作曲家として世界的に有名である、曲として第一交響曲、バレー組曲「黄金時代」音畫「呼應計畫」は有名である

シチエルバチョフ(ウラヂミール)

ショスタコーウイッチと並び稱される天才作曲家で第三交響曲、第四交響曲、歌劇音畫「雷雨」は有名である

パシチエンコ(アンドレイ)

交響曲作者として名あり、第六、第七の交響曲を完成した

シアポーリン(ユリイ)

レニングラード現代音樂協會長として又オペラ作曲者として名あり、交響曲及歌劇「十二月黨員」を完成した

其の外チエシエーヴオフ、ジヴオートフ、ジエロビンスキー等の作曲家である

演奏家

主要演奏團体及び演奏家

現在モスクワ、レニングラードにある有名なる主要演奏團体及び演奏家は次の如くである

モスクワ

◇交響樂團―
モスクワ、フイルハーモニー(常任指揮者ガラワーノフ、シテインベルグ、メリク、パシヤーエフ、オルローフ其他)
中央放送局交響樂團(指揮者シリンスキーハンブルギンスブルグ)
國立大劇場管絃樂部(指揮者フイルハーモニーと同じ)
ペルスインフアンス(代表者ツエイトリン)
中央赤軍會館交響樂團指揮者チエルニエツキー)

◇合唱團
國立アカデミシク合唱團(指揮者ウスペンスキー)
他に國立アカデミック民族樂器合奏團國立アカデミック民謠合唱團、第一手風琴合奏團、バラライカ合奏團あり

赤ペン放送室

帝都キネマの鈴木宣傳子は一寸キネマ俳優陣すら顔負けしそうな美青年ではあるしいやうだが新京には新らしいやうだが

ワシヤ良いとこ見付けとるぞ二階の片隅でね、美しき子と一本の煙草をかはるがはる吸つとつた!

×

大連の某僚紙ぢやが、ラヂオの番組を小學生用の附錄に大きく書いて五重奏は伊太利民謠は「おゝ、それ見よ!」と來たね、ワシヤ負けた、おゝ恐れ入つたよ!

新京區公示第五號
新京中間區公示第一號
范家屯區公示第三號

昭和十年度新京中間區各公費歳入出豫算左記ノ通認可セラレタリ

昭和十年四月二十三日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

記

新京區

科目	金額
歳入	
課金	三四六、七六六、〇〇
戸數割	一五六、四一六、〇〇
雜種割	一九〇、三五〇、〇〇
手數料	三八、七九〇、〇〇
諸口收入	五〇、七一七、〇〇
補給金	三五一、四三六、〇〇
歳入總計	七八七、七〇九、〇〇
歳出	
經常費	
總係費	一七、一一五、〇〇
會議費	一、〇五二、〇〇
土木費	一四一、三六一、〇〇
教育費	三〇九、七三〇、〇〇
圖書費	二一、二七三、〇〇
衛生費	一八七、一三三、〇〇
警備費	三八、〇八八、〇〇
公園費	二三、九〇〇、〇〇
社會事業費	三、八四八、〇〇
墓地及火葬場費	二、三四四、〇〇
報時費	七〇、〇〇
補助費	三、〇一〇、〇〇
諸支出	三三、三一一、〇〇
豫備費	三、〇〇〇、〇〇
經常費合計	七八五、〇四六、〇〇
臨時費	
公園費	二、六六三、〇〇
臨時費合計	二、六六三、〇〇
歳出總計	七八七、七〇九、〇〇

新京中間區

科目	金額
歳入	
補給金	一、二〇八、〇〇
歳入總計	一、二〇八、〇〇
歳出	
經常費	
總係費	三、〇〇
土木費	一四七、〇〇
衛生費	八五九、〇〇
警備費	一四九、〇〇
豫備費	五〇、〇〇
經常費合計	一、二〇八、〇〇
歳出總計	一、二〇八、〇〇

范家屯區

科目	金額
歳入	
課金	七、八九二、〇〇
戸數割	七、一二四、〇〇
雜種割	七六八、〇〇
手數料	九六二、〇〇
諸口收入	六五、〇〇
補給金	一三、七七六、〇〇
歳入總計	二二、六九五、〇〇
歳出	
經常費	
總係費	一、九八五、〇〇
會議費	一九六、〇〇
土木費	四、五三五、〇〇
教育費	九、〇二三、〇〇
圖書館費	一、四六一、〇〇
衛生費	二、七七〇、〇〇
警備費	一、六〇六、〇〇
公園費	二三三、〇〇
社會事業費	一二〇、〇〇
墓地及火葬場費	八九、〇〇
報時費	一〇七、〇〇
補助費	一七〇、〇〇
諸支出	七、〇〇
豫備費	三〇〇、〇〇
經常費合計	二二、六九五、〇〇
歳出總計	二二、六九五、〇〇

安東郊外の畑中から 遭難清水機の行嚢

兩國軍憲の空、海大捜索

日滿空輸最初の犧牲

【安東國通】日本空輸會社のフオッカー旅客機は二十六日朝大連發新義州に向つたが午前八時過ぎ大孤山沖を通過したまゝ午後に至るも新義州に到着せず行方不明となつたのは既報の如くであるが、その後大孤山より安東警察への電話によれば同地西北方約一里の畑の中に郵便行嚢二個を發見したので朝來の濃霧と悪天候に慴まされ遂に遭難したらしく日滿兩軍憲出動目下空中捜査を行ふと共に海上一帶を極力捜査中である

尚旅客は一名も無く清水飛行士が操縱し篠原機關士が同乘して居る、右は日滿間飛行最初の遭難であるが、無電裝置があつたら斯る遭難を未然に防ぎ得たらうと觀られ斯界の問題となつて居る

滿空會社 運航部長特派

【新義州國通】滿洲航空運輸會社では清水機の遭難を聞き永淵運航部長を特派同部長は正午當地に到着して語る

滿洲航空會社の兒玉副社長は此のライン最初の犧牲者たる清水機の遭難を聞き我が兒を失へるが如く痛嘆費用を惜まず徹底的捜査をなして原因を究め將來の禍根を絶つ決意で吾々も捜査に參加することになつた

尚滿洲航空會社二機は捜査應援のため到着した

捜査空しく 遭難機影なし

天候時化益々募る

【大連國通】天候回復を俟つて今朝九時十五分遭難機捜査を兼ね周水子を發新義州に向つた旅客機は依然天候不良の爲大孤山附近より周水子飛行場に引返へし來つた、なほ新義州の青木機は午前七時三十分遭難機捜査の爲、大孤山上空に飛來して捜査を行つたが依然遭難機の機影を發見し得ず一時大孤山附近に着陸した後遭難機の遺留品、赤行嚢一個を携へ空しく新義州に引返へした

大孤山沖で車輪發見 海中墜落確定的

【新義州國通】行方捜査中の清水機車輪が午前十一時大孤山沖大鹿島西方半浬の淺瀬で發見された、これにより同機の海中墜落は確定的となり同時に搭乘者は最も不幸なる結果となれる事と信ぜらる、捜査大作業は風浪はげしく困難を極む

遭難眞因究明に 航空局乘出す

【東京國通】日本航空輸送會社日滿連絡の清水一等飛行士操縱旅客機の遭難は日滿連絡線初の犧牲として遞信省航空局では事件を重視し二十七日片岡航空局長以下關係官は遭難原因の究明に當つたが同日午前中にはまだ眞因を究むべき詳報がないので更に今後の情報を待つ事としたが右に就き片岡局長は語る

同機は六日午前七時半大連を立ち八時前後大孤山の沖合ひで秒速二十メートルの強風に煽られて而も滿洲特有の黄塵の爲に視野を奪はれ遭難したものと觀られる航空路の設備も勿論必要でラヂオビーコン等もあればよいが今回の遭難はまだ詳報に接して居ないので何とも言へない、然し強風に煽られたものとすればラヂオビーコンの如きものがあつても役には立たぬ譯だ、何れにしても詳報を待つて原因を調査し對策を講ずる積りだ

海邊警察隊の 海榮、靖海出動

【安東國通】海邊警察安東分隊では遭難の清水機捜査の爲め加勢の警備船を派遣したが更に警備艦海榮を營口より急派し廿七日朝安東に入港せしめたるも何等の手掛りを得ず重ねて午後三時海榮及び靖海を捜査に出發させた

新義州に急行 本社阿部課長

【東京國通】清水機行方不明の報に接した日本空輸本社では廿六日は徹宵して情報の到着を待ち、捜査上の指令を發してゐたが、遭難確實となつた廿七日は阿部運航課長を午前六時大阪發の飛行機で新義州に急派すると共に萬一の際の善後措置其他に就て協議を續けてゐる、遭難した清水機に無電裝置の無かつた事は同空路が常に滿洲特有の黄塵に妨げられる事よりして最も遺憾とされてゐるが右に關し本社では左の如く語つて居る

取敢へず阿部運航課長を急派させました、無電設備の無かつた事は遺憾であります、遺族の弔慰等に就ては未だ何も決定してゐませんが、萬遺憾なきやう期して居ります

原篠機關士 略歴

【東京國通】遭難した清水機搭乘の機關士原篠菊男氏(三十三)は原籍東京市下谷區龍泉寺四十二、藏前高工出身で中島航空機製作所、立川所澤陸軍航空隊機關部を歴任し大阪空輸支社勤務を振出しに大連支社から京城支社詰となり現在京城府三坂町七十六に居住老母センさん夫人つね子さんとの間に六才と四才の二女あり五人暮しである、東京淀橋區柏木四ノ七八〇に實弟松坂誠工所社員原篠昭二氏が兄遭難の報に悲みの面をふせながら

かねがね覺悟はして居りましたものの何しろ子供も二人居ることですしそれに老母も一緒で京城ではどんなにか驚いてゐることでせう

と語つた氏は廿七日午後三時東京發富士で京城へ向け急行した

遭難地點大鹿島?

【新義州國通】捜査本部では所屬の日本航空機二機及應援の滿洲航空會社機二機、計四機で徹底的捜査中なるも、正午迄には消息なく、墜落地點は大孤山沖大鹿島二、三浬と觀測される

けふ國都 遊覽飛行 天候次第で中止

滿洲航空會社新京管區の第二回國都遊覽飛行はいよいよ二十八日午前九時より擧行するが若し天候が二十七日のやうに險悪の場合は取りやめる筈である

法螺で 無錢遊興

本籍横濱生れ現住所新京特別區渡邊晋也(三一)は二十五日午後四時半頃から二十六日午前一時頃まで市内入舟町四丁目おでん屋島むすめに上り込み俺は土木建築の請負師だと大法螺を吹き十一圓九十錢を飲食したが懐中無一文のためこつそり逃げ出し自宅へ歸る途中朝日通清水巡査に取り押へられ本署に連行目下嚴重取調べ中

徹底的宣傳を期す 新京の結核豫防デー

＝夜は金語樓も出演＝

全滿結核豫防デーは五月一日を期して一齊に行はれるが新京では五月一日二日兩日に亘り徹底的に之が宣傳をなすべく新京支部では準備に大童となつてゐる、當日は午前中自動車隊が市内を遊行し宣傳ビラを撒布、各戸につき衞生的指導をなし夜は公會堂に於てお馴染の柳家金語樓が得意の落語で結核豫防を一席辯じ各活動常設館では入場者にパンフレットと健康マークを配布、衞生映畫を挿入して一般に衞生思想を注入すると共に幕間を利用して小坂關東局衞生課長が結核豫防に關する講演をなす等盛澤山のプログラムである

新京驛の 一燈園講演

新京驛では二十九日天長節當日午前七時三十分から約一時間に亘つて一燈園講師三上和志氏を聘し講演を催す

川崎竹の湯の五人殺傷 滿洲に飛んだ主犯 瓦房店署で逮捕

共犯は既に大阪で御用

本日記事解禁

去る四月廿日午前三時頃神奈川縣川崎市大島五八〇竹ノ湯こと杉島眞平(四四)方へ主人の不在中何者か押入り、眞平の妻せき(三三)長男正太郎、長女よし江(一一)雇人合田敏(二六)眞平の甥杉島静雄(一五)の五名を殺傷した稀代の兇悪犯行があつた急報に接した神奈川縣警察では直ちに新聞記事掲載を禁止して全國に指名手配中廿一日未明偶然に共犯者大和田元雄(二四)を大阪で逮捕し、主犯佐俣を極力追跡中、廿六日午後四時瓦房店署管内松樹派出所大西巡査部長の手により逮捕され、瓦房店署に護送目下嚴重取調中であるが本日記事解禁となつたが、主犯佐俣丑松は去る二十五日大連入港のうらる丸で潛かに來連、何處かに潛伏せんとしたが折柄皇帝陛下還幸の非常警戒の爲市内に身の置きどころなく州外に逃亡を企て二十六日午後四時頃徒歩にて滿鐵本線に添ひ瓦房店署管内を彷徨中松樹派出署大西巡査部長一隊の爲遂に逮捕され身柄は瓦房店署内に留置された、これより先犯人が滿洲に高飛びした形跡ありとの内報により新京より全滿警察署に指令あり加ふるに皇帝陛下御警衞に極度の緊張を見せてゐた折柄でもあり偶々一滿人より鐵道線路を彷徨中の怪しき一日本人ありとの通報あり、瓦房店署では直ちに柏木司法主任以下十七名を同伴し自動車、オートバイ、乘馬隊を組織して現狀に急行一方松樹派出署では大西巡査部長は直ちに巡査保甲隊、夜警團を率ゐ松樹驛南方十キロの地點に至り折柄窪地内に潛伏中の犯人を發見難なく逮捕身柄は直ちに瓦房店署内に留置した、同人は最初固く口を緘してゐたが嚴重な取調べに包み切れず犯行の一切を自白したもので犯人の身柄は一兩日中に大連に護送される筈である

市内各學校の 招魂祭參拜

來る三十日新京南嶺夕日丘の忠靈塔に於て執行される招魂祭に市内各學校は午前十時より參拜することになつた、因に小學校は五、六年以上のみ參拜する豫定である

高女募集の 結核豫防標語

來る五月一日二日に亘つて行はれる滿洲結核豫防會新京支部の結核豫防デー當日市内に撒布する宣傳ビラの標語は新京高等女學校生徒より募集、嚴選の結果左記入選採用することゝなつた

(一)吸ふなよ塵埃吐くなよ痰を(四ノ一竹中妙子)(二)怖れよ結核散らすな痰唾(五ノ一鈴木和子)(三)朝寢夜更かし結核の友(一ノ二岡田松枝)(四)火事に消防結核に日光(二ノ一芥川和子)(五)日光消毒風通し(三ノ二和田英子)(六)明い心に病なし(五ノ一引地綾子)(七)日光と親しむ者に結核なし(三ノ二垣見清子)(八)きまり正しく働けよ病の襲ふ隙もなし(三ノ二辻和子)(九)日光に手向ふ結核なし(二ノ一芥川和子)(十)日光は結構結核は不結構(二ノ一芥川和子)選外佳作(一)結核の基は不潔な空氣から(三ノ二松島靜江)(二)結核の予防は清い空氣から(同上)(三)日光に露より脆い結核菌(三ノ一芥川和子)(四)浴びよ日光滅ぼせ結核(二ノ三青木美智子)(五)あたれ日光護れ身体(三ノ三成松芳子)(六)結核殺すにや刃物はいらぬ土と太陽があればよい(一ノ二岡田松枝)

新當選町内會長の 顏觸れ決まる!

殘るは白菊町内會長の椅子

新京附屬地各町内會の會長及び副會長の任期は二ケ年で本年度三月で任期終了、各町内會でそれぞれ會長副會長の改選を行つてゐたが白菊町内會を殘したあと十町内會はいづれも會長、副會長左の如く決定をみた

▲鐵道北町内會々長小松兼松、副會長野村政武、井上源太、後藤甚壽美
▲富士町内會々長石山金治、副會長青木晋次、村木由松、寺中楠治
▲三笠町内會々長荒木信之、副會長松田益太郎、渡邊才吉
▲吉野町内會々長瀧竹三郎、副會長乾辰二、吉田廣盛、吉田総治
▲祝町内會々長田中卓二、副會長穴澤喜莊次、栃尾幾太郎
▲入船町内會々長小澤禎吉郎、副會長小西鹿三、片桐菊治
▲日本橋町内會々長山下藤藏、副會長宇野常吉、岡田小太郎、丸山安右衛門、廣本光治、船越喜代治
▲朝日町内會々長四戸友太郎、副會長佐竹善太郎、平山繁光、前田伊織
▲中央町内會々長淸水末一、副會長千葉修一、久末吉治、組岡儀藏
▲西廣場町内會々長早川武夫、副會長長尾次郎、桂保雄、都留國武、丸山益三

なほ滿鐵側から後日各町内會長に對して區長就任方を委囑するはず

佛ソ相互援助條約 兩國間意見一致

けふ愈々假調印を了せん

【パリ廿六日發國通】パリ駐劄ソヴィエット大使ポチョムキン氏は廿六日夜フランス外務省にラバール外相を訪問し本國政府よりの訓令に基き相互援助條約案に關するソヴィエット政府の見解を表明した右條約案に關する折衝は最後の土壇場に至り援助條約の自動的發動規定に關し佛ソ兩國政府の意見一致せず停頓狀態に陥つたのであるが、ソヴィエット政府の新訓令により最終的條約案の檢討が行はれた模子で愈々廿七日ラバール外相とポチョムキン大使との間に假調印を了する段取と觀られる

本社主催 野球大會第二日

新鋭の奇襲成るか 古豪喰はれるか

けふの興味は西公園に

鐵道一地方部

本社主催第二回新京野球大會第二日目は、雨雪の爲順延となつてゐたが本日は愈よ前年の優勝チーム鐵道對新鋭地方部及び電業對新廳舍戰と決行するが前者は午後一時、後者は午後三時より西公園球場で花々しく開戰する事になつたが、先づ今日のトップを承る鐵道對地方部の對戰は兩軍選手の大半が全新京軍の名選手でありこれ等が二分され中堅となつて臨むので好試合を展開するものと期待されてゐるが、戰前の下馬評によれば鐵道に六分の強味を期せられてゐるが同軍は淺香主將を筆頭に高橋、古賀、三輪、小幡の五選手が轡を揃へた錚々の陣を張れば一方とても先ず藤井投手は何と云つても全新京軍の副投手として名聲高く同君の投球如何によつては相當に鐵道軍を苦戰せしむるものがあらうと見られ同君に續く山田、片山(全新京)兩選手が中心となり、強豪鐵道に肉迫するのでその日のコンヂション如何によつては勝敗は逆賭すべからざるものがあり中銀對舊廳舍戰に劣らぬ白熱戰を展開すべくファンの期待をあつめてゐる(寫眞は兩軍の中堅選手——▲鐵道—淺香、高橋、古賀、三輪、小幡▲地方—藤井、川田、片山の諸君)

(淺香君)　(高橋君)　(古賀君)　(三輪君)　(小幡君)　(藤井君)　(川田君)　(片山君)

電業一新廳舍

本大會の優勝候補である電業、新廳舍が第一回戰に對戰したことはファンを熱狂させる、兩軍の對戰は將に優勝戰である兩軍の實力は相伯仲してゐることは云ふまでもない、いづれに軍配が揚るか今のところ豫斷することが出來ない興味深い試合である、兩軍が如何なる作戰で臨むか、電業軍は杉谷主將を筆頭に片岡、梅本吉田と大連滿倶で名を揚げた選手で其に奉天滿倶で打撃王として知られた孫更に全滿倶で有名の行德選手を加へ何れも攻守ともに申分のない古強者を集めてゐる又新廳舍を見ればこれに劣らず万能選手として有名である水原主將以下

六大學リーグ 立教大勝 對帝大一回戰

2—8

六大學リーグ帝立第一回戰は法早の後を受け同三時から立教先攻で開始された八對二で立教快勝した

(先)立	0	1	0	0	0	3	2	0	2	8
帝	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2

今日の試合(西公園球場にて)

▲鐵道對地方部—午後一時より
▲電業對新廳舍—午後三時より

本社主催 新京野球大會

太子堂 古美術展 卅日迄延期

青井文藻堂美術部主催第四回支那古美術品即賣大展覽會は二十五日より二十九日まで市内祝町太子堂において毎日午前八時より午後八時までの間を開場開催を續けてゐるが皇帝御歸朝につき隨員中の愛好者の爲希望に依り一日繰延べ卅日迄開催のことに決定した

日滿交驩競技出場のため滿洲國選手を率ゐて東京に行つてゐた協和會の奥君が歸へつて來ての話に「東京では各大臣などと共に宴會などに列席した、全く大臣と同格に扱はれ、僕も自分ながら相當なもんだと大いに意を強うした」とえらい鼻息、誰彼なしに余りしつこく喋べるので腹に据えかねた一人が「服裝はどうした」と訊くと「燕尾服を着用に及んださ」「ホウ張り込んだのか」と言へば、トタンに聲をひそめて「貸衣裳屋から借りてきた」言つてしまつてから、流石に口惜しかつたとみへて「俺だけぢやない、皆んな借りたんだ」としつぽを出さなければならなかつた話

女人婆羅門

（映畫化上演）

長田秀雄

西正世志畫

（百二十八）

戀の芽生（一）

星野醫師の奬めによつて、町田信也が修善寺の旅館勢州樓を引拂ひ、同國田方郡伊豆山へ向つたのは、その翌朝のことだつた。

勢州樓から特別備ひの人力車に乘つて、天城を超え、同國高田郡輕井澤の登岐山の麓までくると、車夫が、

「あ痛々」

と、うめいて轅棒を下ろした。

「どうしたんだ」

信也は、心配になつたから訊ねた。車夫は、横つ腹を抑へて、

「あ痛々――畜生つ――こゝまでくると急に横つ腹の野郎が痛み出しやした。旦那、一寸、憩んでおくんなさい」

「横ツ腹の野郎とは滑稽だな、そいつは氣の毒だ。同病といふ程ぢやないが、僕も病人だ。相見互ひで一つ下車をしてやらう。そして今日は、この登岐山の麓で一泊しやう、お前も泊つて行け」

「有難う御座います――こんな好い旦那を乗せて來て助かつた。これも日頃信ずる大日如來の御加護だ」

信也は、靜かに車から降りて來て、

「向ふに幸ひ茶店が在るやうだ。あすこで憩んで行かう」

「へえい、有難う御座います」

車夫は、腹を押へ〳〵して、茶店まで來た。

茶店の老婆は、喜んで、

「お掛けなさいまし、――おや、御病氣ですかい」

「婆さん、見てくれ、まつこの通りだ。――あ痛々」

「おや、腹でも切んなすつたのかえ、――まア〳〵お掛けなさいまし」

信也は、

「濟まないが、御覧の通りだ。富山の藥でもあつたら一つ服まして遣つて下さい」

「はいはい、丁度熊の膽が有りましたつけ」

婆は奥から茶碗に水を入れて、熊の膽を持つて來た。

「これをお服みなすつて下さい」

「はい、有難う――車屋さん、一息に服んだがいゝ」

車夫はそれを受取つて、ぐつと服み下した。

「どうだな」

「いや、滲みる、滲みる。づんと滲みわたります」

「それあ結構だ」

茶店の老婆は、煎餅とお茶をもつてきた。あたりは春の日永とは言へ、日が靜かに薄れてゆき、暮れんとして暮れなづむ夕の色が迫つてきた。

車夫は、漸く元氣に蘇つて、

「旦那え、最う日が暮れましたが今晩は、此の輕井澤へお泊りになりました方が宜しう御座いませう。これから先は、日金越と申して車が利きませんから、朝早く丈夫な駕籠をお雇ひなすつて、それへ召しました方が宜しうございませう。また私共も、車ばかりではありません、駕籠舁にもなりますから、明朝合棒を雇ひまして、どうか伊豆山まで、お共を致したうございます」

信也は、輕井澤と、聞いて、

（福地源一郎先生から承つた信州の輕井澤と、端なくも同名の地だ。何かの因縁だらう）

など〻思ふと、輕井澤泊りは、惡くもなさゝうであつた。

「さうか――夜に入つて山を越すといふのも、難澁だが、見ればこの宿も餘り綺麗な處でもないが、泊る所があるかな?」

車屋は、

「へい、それは修善寺の旅館のやうな譯にはゆきませんが、一晩位は、御臥りなされるくらゐの宿はありませう、成るだけ好い宿へ御案内しますから」

茶店の勘定を拂つて、町田信也は車夫の案内で、この宿の立場茶屋に向つた。